

授 業 科 目 の 概 要

○現代教養学部において開設するすべての授業科目の到達目標および概要が、教育課程順に掲載されています。

○年度によって開講されない授業科目があります。

その年度に開講される授業科目の具体的な内容、到達目標、スケジュール、テキスト等は、シラバスで確認してください。

全学共通カリキュラム

《教育目標》

- ・建学の理念・キリスト教について学ぶ。
- ・「女性の生きる力」を養う。
- ・共生社会の推進への理解を深める。
- ・専門領域を超えて学ぶ姿勢を養う。
- ・学びの基礎的スキルを養う。

リベラル・スタディーズ

《教育目標》

- ・専門領域を超えた学習により、幅広い視野と深い識見を養い、現代の諸問題に向き合う判断力を身につける。

(1) 総合教養科目

《教育目標》

- ・専門領域を超えて問題を探求する力を養う。
- ・女性の自己確立の基盤となる知識・能力を身につける。

■女性の生きる力

《教育目標》

- ・女性学の知識やジェンダー的視点から、社会・文化・歴史の諸相を理解する。
- ・女性が直面する現代社会の諸問題をジェンダー的視点から分析する力を養う。
- ・男女共同参画社会における女性の自立的社会参加の基盤となる知見を身につける。

2SK101 女性学・ジェンダーを学ぶ

【到達目標】

- ・女性学を構成する基本概念を体系的に習得する。
- ・ジェンダー(社会的・文化的性差)に関する総合的な理解を深め、それに基づいて男女共参画社会のあり方を主体的に考える視点を養う。

- ・女性学の知識とジェンダー的視点を持つことの重要性を理解する。

【概要】近代化を推進してきた男性中心のパラダイムや価値観を、ジェンダーの視点から問い直した「女性学」。その成立の過程や基本概念について学びながら、体系的な理論構造を明らかにする。またそのなかで、女性学が提示した「ジェンダー」（社会的・文化的性差）の概念を軸として、性別を問わず個人としての尊厳が重んじられる男女共同参画社会のあり方について、男性学にも留意しながら考察していく。

2SK102 女性とジェンダーの歴史

【到達目標】

- ・女性が、過去の社会においてどのような役割や位置づけを有していたのか、またどのような歴史的变化を遂げてきたのかに関する知識を得る。
- ・ジェンダーの視点から、あらためて日本や世界の歴史全体をとらえ直し、女性をめぐる諸問題を考察する力、解決していく力をつける。
- ・日本と海外の女性・ジェンダーの歴史とを比較理解し、相対的な理解を深める。

【概要】女性とジェンダーの歴史をとおして、これまで女性社会の中でどのような位置を占めていたかを、日本を含む世界的な視野から把握する。とりわけ、現在までの歴史を通じた女性の変化を、教育・労働・政治・生活・文化等の側面から考察していく。また、女性表象を考える意味で、ヴィジュアルな資料も積極的に利用する。さらに「ジェンダー」の視点を導入しながら、既存の歴史全体をとらえ直し、女性をめぐるさまざまな問題事象について考えていく。

2SK103 キャリアデザインを描く

【到達目標】

- ・女性労働の現状と問題点を多面的に理解する。
- ・女性労働の課題をジェンダーの視点から捉えることができるようにする。
- ・キャリア理論の学習を通して、自己のキャリア計画・キャリア展望を行うための知識と方法を習得する。

【概要】人生においてどのようなキャリアを築くかは、ライフコースの選択と密接にかかわり、またライフコースの選択はジェンダーと直結している。個人のなかでキャリアとジェンダーは不可分であり、いずれかだけを考えて生きていくことはできない。この授業では、改正男女雇用機会均等法施行後の女性労働の現状、高学歴女性の職業意識やキャリアパターン、企業における女性のキャリア形成、仕事と家庭の両立支援などの問題を取りあげ、女性が生涯にわたって発展的なキャリアをたどるためのシナリオを考える。

2SK104 政治とジェンダー

【到達目標】

- ・グローバル化する現代社会の政治的諸問題についてジェンダーの視点から考えることができる。
- ・グローバル化する現代社会における望ましい地域政治についてジェンダーの視点から総合的に考察できる。

【概要】 少子高齢社会における子育て支援、高齢者介護、障害者の自立支援をはじめとして、人々の共同性や共生にかかわる問題がクローズアップされるなか、女性の政治参加は重要な問題となっている。地域政治、国内政治、国際政治の各レベルにおいて、社会貢献をめざすNPOや市民グループといったテーマ・コミュニティが活性化するなど、政治コミュニティのあり方も多様化しつつある。人間性を回復し、自律型の社会をつくる政治参加の基盤形成を念頭におき、従来の固定的な性別役割分担を超えた市民の役割、ガバナンスやアドボカシーなどについてジェンダーの視点から多角的に考察していく。

2SK105 国際協力とジェンダー

【到達目標】

- ・経済開発や紛争及び平和構築の過程で発生しているジェンダー問題を明らかにする分析力を養う。
- ・国際協力の現状を問い直し、女性や不利な立場にある人々のエンパワーメントを支援する方策を構想する力をつける。

【概要】 国際協力とはさまざまなアクターが交錯する試行錯誤のプロセスである。例えば、初期の開発援助は現地の社会構造（階級・階層、ジェンダー、エスニシティ）に踏み込もうとしなかった。この授業では、経済開発や紛争及び紛争後の平和構築・復興開発の過程で発生するジェンダーによる差別、格差、暴力の実態を明らかにしながら、それら「直接的暴力」及び「構造的暴力」と格闘する人々の存在を知り、そうした人々と共に歩む国際協力のあり方を考える。

2SK106 国際社会と女性の人権

【到達目標】

- ・世界では女性の直面する問題が、どのように女性の人権とかかわっているかについて理解する。
- ・国際社会および国際法は、女性が抱える問題にどのように対処してきたのか（あるいはこなかったか）について理解する。
- ・女性やジェンダーの視点から社会的な問題を見るというアプローチを身につける。

【概要】 世界の女性を取り巻く問題とそれに対する国際社会および国際法による取組みについて学ぶ。また、それらをジェンダーの視点から分析することにより、私たちの目から見えにくくなっている問題の根源を探る。具体的には国家主権、人権、開発、環境などの争点において、国内社会ほどには制度化が進んでいない国際社会の実情を理解し、国際社会における法の役割を学ぶと同時に、世界では女性の直面する問題が、どのように女性の人権とかかわっているかについて理解する。

2SK107 現代の家族とジェンダー

【到達目標】

- ・家族のあり方は時代や社会・文化によって異なることを多面的に理解する。
- ・家族生活・職業生活がジェンダーと深く関わっていることを総合的に理解する。

【概要】家族という人間の営み、家族関係にまつわる心理は社会・文化的に規定されるものである。夫婦関係や親子関係など、現代家族の人間関係の中で人が何を感じながら生きているのか、ジェンダーを切り口として概観することによって、人間にとって家族とはどのような意味をもつのか、現代の社会に適応的な家族の姿とはどのようなものかを考えていく。授業の内容を自分自身の経験や将来展望に照らしながら、自らの家族体験を相対化する視点を獲得してほしい。

2SK108 女性のウェルビーイング

【到達目標】

- ・現代における精神疾患の基礎知識を総合的に把握する。
- ・現代社会において女性が抱える問題を精神医学の視点から捉え理解する。

【概要】現代社会の急激な変化によって、人々は生涯にわたって様々なストレスに晒される。この講義では、女性がストレスにどう対処し、それをどう成長の糧にするかについて、精神保健学の観点から学習する。人の誕生から死に至るまでのライフサイクルにおいて、節目節目で遭遇する精神医学的・心理的・社会的課題についてジェンダーの視点から概観し、それらを乗り越える知恵や経験やスキルを精神保健学から学び、この学習がその人らしいライフサイクルを送るための契機になるような講義を行う。

2SK109 女性と福祉

【到達目標】

- ・現代女性がライフステージの各段階で直面する福祉関連の問題を抽出し、その解決のために必要となる制度や支援のありようを考える。これまでの「福祉の女性化」をジェンダーの視点から批判的に問い直し、ケアや仕事をめぐる諸個人の幸福追求にとって、ジェンダーの主流化（ないし男女協業）が重要であることを理解する。

【概要】現代女性がライフステージの各段階で直面する福祉関連の問題を抽出し、その解決のために必要となる制度や支援のありようを考える。児童福祉、障害者福祉、高齢者福祉、あるいは失業や生活保護といった主要な福祉の問題に対峙するときには現在どのような解決の経路があるのか。どのような困難や制約と女性は向かい合うことになるのか。あるいは支援者の立場から、福祉の問題と関わる時、どのような知識が必要なのか。これらについて具体的な問題を例として取り上げ、考察する。これまでの「福祉の女性化」をジェンダーの視点から批判的に問い直し、ケアや仕事をめぐる諸個人の幸福追求にとって、ジェンダーの主流化（ないし男女協業）が重要であることを理解する。

2SK110 女性と表現

【到達目標】

- ・男女に二分化されたジェンダーがどのように形成されてきたのか、文学を含む芸術を通して社会的・文化的・歴史的に広く考察し、総合的な理解を深める。
- ・女性/男性表象の差異をめぐる社会的・文化的・歴史的背景や、その基盤としての思想、宗教、深層心理などを多面的に理解する。

【概要】 文芸や音楽、絵画、映像、舞踊、演劇さらに服飾、建築、空間デザインなどさまざまな分野において女性の進出が拡大し、表現者として活躍している。しかし、いまだ職名に女流・女性という文言が付されることも珍しくなく、芸術表現の歴史に女性の名を見ることはごくまれであるように、芸術表現にもジェンダーの問題が潜んでいる。現代の社会・文化を生きる者としての問いやメッセージをさまざまな形で表現する女性たちの活動に着目し、芸術表現生成の社会的・心理的背景など多様な表現に織り込まれた「ジェンダー」の諸相について、考察していく。

2SK111 総合教養演習（女性の生きる力）

【到達目標】

- ・「女性の生きる力」領域で課題とする問題を探究し、理解を深める。
- ・議論や発表を通じて、他人の価値観、発想の多様性を認識することで、問題点を広範な視野で捉える力を養う。
- ・主体的、能動的に課題を発見し、分析・検討に必要な情報を収集・整理し、探求していく力を身につける。

【概要】 総合教養科目「女性の生きる力」領域に関連するテーマを取り上げる演習である。2年次以上の全学科学学生を対象とする。異なる学科、異なる学年の学生が一つのテーマの下に集い、議論や発表を通じて、他人の価値観、発想の多様性を認識することで、問題点を広範な視野で捉える力を養う。「女性の生きる力」領域において、学生自身が主体的、能動的に課題を発見し、分析・検討に必要な情報を収集・整理し、教員の直接指導と学生同士の切磋琢磨を通じて、探求していく力を身につける。

■人間と自然科学

《教育目標》

- ・人間と人間をとりまく自然界の様々な現象と生命の多様な姿を科学的に理解する。
- ・科学や技術がもたらす社会的役割や影響を正しく判断できる素養を身につける。
- ・現代の数学が果たす役割を理解し、論理的思考力を養う。

2SK201 自然科学のあゆみ

【到達目標】

- ・自然界を理解しようとする人間の古代から近代までの歴史を省みる。
- ・自然科学の発展をたどり、様々な視点からの議論と自然現象の捉え方を学ぶ。
- ・独自の自然観を育む素養を身につける。

【概要】 古代から近代に至るまでの自然科学の歩みを辿る。古代ギリシャの科学者や哲学者の自然界の捉え方から始まり、中世に於ける神秘的な科学や、西洋と東洋の自然観の比較などをとりあげる。近代に入り、ルネッサンス時期に育成された自然現象と科学と芸術の調和的な考え方に注目する。また、19世紀に活躍した女性科学者達の生涯について、その苦悩と功績や、人生観を紹介する。全体を通じて、科学者達の間人像を浮き彫りにしながら、自然現象とそれを理解しようとする人間の姿勢について解き明かしてゆく。

2SK202 現代の科学と技術

【到達目標】

- ・人間の生活を支えてきた20世紀の科学と技術の発展の歴史を学び理解する。
- ・21世紀の科学・技術が進むべき方向について多様な視点から議論できる。
- ・人間社会の将来に関して、科学・技術の在り方はどうあるべきか、独自の考えをしっかりと持てる素養を身につける。

【概要】 20世紀の科学と技術の発展を顧みて、21世紀に人類が進むべき方向について考える。科学と技術を土台とする経済・社会システムの姿を見つめ直し、真に心ゆたかな人間生活と、健全な自然環境の持続について議論する。人間による科学の追究とは何か、技術がもたらす効用とは何かを問う。また、医薬品や化粧品などに代表される人工的物質、利便性を追求するハードウェア、そして地球環境問題の原因と対策などについて、それらに関する最新の科学的発見や新技術を紹介しながら、人類社会と自然界の将来を展望する。

2SK203 暮らしの中の物質

【到達目標】

- ・日常生活において身近に存在し日々使用している“もの”を、化学の目でとらえ、その物質や現象の本質を理解する。
- ・今後予想される科学技術の進歩に対し、興味を持って対応できる素養を身につける。

【概要】 人間生活の全てに関係するさまざまな物質の正体と、それらの意義や影響について理解を深め、これからの物質社会を考える。文明の歴史は新物質の発見、発明とその利用である。次々と新しい機能をもつ物質から造られる製品が開発されて、経済と社会を動かす状況や、日常生活への影響を把握する。食料、衛生、医療、自動車、航空、建物、家電品、パソコン、携帯電話、服飾、化粧品などに使われている物質について科学的に理解する。また、環境・エネルギー問題と物質リサイクル、天然物や再生可能な物質の利用などの新しい流れも視野に入れながら、21世紀の人類社会の姿を考える。

2SK204 エネルギーと人類

【到達目標】

- ・エネルギーについて総合的に考えることにより、歴史・人間・社会についてのしっかりとした現状認識を培う。
- ・自然科学に関する十分な知識と感性を持ち、人間と社会のあるべき姿を模索し、自分が生きる社会を自分で選ぶための力を養う。

【概要】 エネルギーに関する諸問題を解決することは、人類につきつけられた最も重要な課題のひとつである。この問題の本質的解決は、技術革新や政策よりも、人類としての価値観の問題・生き方の選択の問題が鍵を握っていると言える。エネルギー資源に関する各論のみならず、地球史、人類史を辿る中で、人間社会のあるべき姿を模索することを目指す。更には、余裕があれば宇宙における暗黒エネルギーといった壮大な話題にも目を向けたい。

2SK205 宇宙の科学

【到達目標】

- ・身近な太陽が輝く理由を理解し、地球の属する太陽系の概観とこれを支配する法則、その形成のシナリオについて学ぶ。
- ・星（恒星）の持つ様々な属性について学び、星の進化と、その最期に起きる超新星爆発やブラックホールの形成について理解する。
- ・最新の宇宙論であるビッグバン宇宙論に関する基礎事項を習得する。

【概要】 太陽は中心部の核融合反応によって輝き、それが地上のエネルギーの起源であることを紹介する。また、我々の属する太陽系の概観と、その形成のシナリオ、太陽の様な恒星（星）の進化とその最期に起きる超新星爆発やその結果生まれるブラックホール、等について解説する。更に、最新の宇宙論であるビッグバン宇宙論とそれを支持する観測事実、余裕があれば宇宙論において素粒子理論のはたす重要な役割についても解説する。

2SK206 地球の科学

【到達目標】

- ・地球を構成する大気圏・水圏・地圏・生物圏についてその概要を理解する。
- ・地球惑星と生命の共進化についてその概要を理解する。
- ・地球環境問題の基本について科学的知見の上に議論できる。

【概要】 太陽系の一惑星である地球を大気圏・水圏・地圏・生物圏からなる地球システムとして捉え、その概要を解説する。また、地球惑星と生命の共進化を中心に地球の自然環境を統合的な観点から概観し、人間活動に伴う地球環境を巡る諸問題について自ら考えるための基礎を講述する。

2SK207 地球環境の科学

【到達目標】

- ・身近な生活環境から地球規模の環境に至る様々な問題の現状を理解する。
- ・環境問題に対する様々な科学的視点を学ぶ。
- ・環境に関する21世紀の課題について、自らの問題意識を持ち、考えることができるようになる。

【概要】生活環境から地球環境に至る問題の多くは化学的現象が背景にあることから、環境問題を化学的視点から理解し、21世紀に人類がとるべき行動を考える。環境問題は、地域公害の時代から、地球規模に拡大した。その対策は、様々な分野の視点から議論がなされ、一人ひとりが問題意識をもって行動することを必要としている。この授業では、環境問題を幅広くとりあげ、例えば二酸化炭素増加による温暖化、オゾン層破壊による紫外線被害、酸性雨、大都市大気汚染などの現象の因果関係を科学的にわかりやすく説明し、対応策や規制について検討する。そして、持続性と発展性のある経済と社会を、健全な環境を維持しながら実現するにはどうしたらよいかを議論し、人類が進むべき方向について考える。

2SK208 自然環境と人間社会

【到達目標】

- ・日本国内および地球規模で起きている様々な環境問題の現状を理解する。
- ・環境問題が生じる社会経済的背景と問題解決のための対策について、生態学的視点から学び理解する。
- ・環境問題について自分なりの意見を持ち、自らの関わり方を考える力を養う。

【概要】さまざまな地球規模の環境問題の現状、それらが生じる社会経済的背景、問題解決のための対策や課題について、生態学的視点から学び理解することを目標とする。地球環境の概要、人口増加、食糧問題、資源利用量やエネルギー消費量の増加、地球の温暖化、オゾン層の破壊、酸性雨、海洋とその汚染、熱帯林の減少、生物多様性の減少、砂漠化、水資源の枯渇、これらの問題を解決するための国内的・国際的取り組み、今後に向けての課題などについて概要を解説する。

2SK209 生物と環境

【到達目標】

- ・地球上にみられる多様な動植物と環境とのかかわりを知ることを通じて、生態学の基礎を学ぶ。
- ・動植物全般について関心を深め、身近な生き物とのふれあいの重要性や保全の意義について理解できるようになる。

【概要】動植物の分類、分布、生態、それらにみられる特徴と環境との関係について概要を学び理解することを目標とする。動植物の分類と類縁関係、日本および世界の動植物相や植生の分布の特徴、分布を決める要因や成立プロセス、動植物の生活にみられる多様性と規則性、それらにかかわる生態学的要因や進化的な背景などについて解説する。

2SK210 生命と医療の科学

【到達目標】

- ・生命科学の基本を理解した上で、「ヒトとは何か」という視点から、身体のしくみや病気と医療の一端を学ぶ。
- ・日常生活の中で接する生命科学に関する情報を正しく理解する方法を学ぶ。
- ・避けては通れない病気や医療の問題について、自ら考察し柔軟な対応ができる力を身につける。

【概要】 生命体を構成する物質である原子や分子によって起こる生命現象の仕組みを、私達の日常生活に結びつけながら理解する。特に、人間の生命を維持するために必要な遺伝子やエネルギー源となる化学物質とはどのようなもので、人体内でどのように機能しているか、脳の機能との関わりはどうなっているかなどについて、わかり易く説明する。更に、病気や不健康状態について、人体内で起こる現象を分子レベルで理解を深めながら、それらの対策としての医療と医薬品がもたらす役割について学ぶ。全体を通じて、最新の生命科学と医療科学を紹介しながら授業を展開する。

2SK211 人類の誕生と進化

【到達目標】

- ・ヒトの進化の概要を学び、ヒトと他の動物の進化に見られる共通の原理を理解する。
- ・ヒトの顕著な特徴である文化について、自然科学的な視点から考察する。
- ・進化の産物としてのヒトについて理解を深める。

【概要】 進化の産物としての自分を知ること为目标とする。自然人類学は、生物としてのヒトがたどってきた進化の道程を明らかにし、ヒトが進化の産物であるために有する特徴を理解することを目的としている。ヒトの形成には、遺伝的な変化による「遺伝」進化のほかに、文化的な変化による「文化」進化が大きく寄与している。これらの進化の原理について、具体的な事例を踏まえながら解説する。あわせて、われわれが日常的に行っている社会行動についても進化の観点からとりあげる。

2SK212 脳の科学

【到達目標】

- ・ヒトを中心に、脳神経系のしくみとはたらきについて、神経生物学の観点から基礎を学び理解する。
- ・日常生活にも関わりの深い脳に関する情報を正しく評価し利用できる力を身につける。

【概要】 ヒトを中心に、脳神経系のしくみとはたらきの基礎について、神経生物学の観点から理解することを目標とする。脳神経系の構成（中枢神経と末梢神経）、脳神経系の細胞の種類や情報伝達のしくみ、脳神経系の機能（感覚、とくに視覚、運動、体内環境の維持、記憶と学習、情動、思考と意識など）、左右脳の機能差と言語、脳神経系の生涯発達と進化、脳神経系に対する薬物の作用、神経生物学の研究手法と歴史、神経生物学の関連分野などについて解説する。

2SK213 遺伝の科学

【到達目標】

- ・ 遺伝現象のしくみやはたらきについて基礎を学び、遺伝現象に関する日常的な疑問が理解できる。
- ・ 食生活や医療におけるゲノムサイエンスの成果がもたらす恩恵や危険性など、社会との関わりについて考える力を身につける。

【概要】 遺伝のしくみの基本を学び、なぜ女性と男性が半数ずついるのか、結婚したら遺伝病の子どもが生まれることはないのか、自分のクローン人間は自分と同じかなど、遺伝現象に関して日常的な疑問が理解できるようになることを目標とする。遺伝の基本（メンデル遺伝と非メンデル性遺伝）、細胞と染色体（細胞、細胞分裂と染色体の動き、染色体における遺伝子の配列）、ヒトの遺伝（通常形質の遺伝、遺伝病の遺伝、集団遺伝学からみた遺伝病の可能性）などについて解説する。

2SK214 数学の世界

【到達目標】

- ・ いろいろな物事や現象に積極的に疑問を持つ習慣をつけ、それを解明しようという態度を培う。
- ・ 日常生活において何気なく目に触れるものの背後に、数学があることを発見する。
- ・ 数学的現象を明らかにするうえで、現代の数学が果たす役割を理解し、豊かな数理的感覚と厳密な論理的思考力を養う。

【概要】 この授業では、数学の様々な姿にふれることが目標である。算数、数学は、小学校、中学、高校、大学で、多くの人が学ぶ最も重要で基本的な科目のひとつである。数学は自然現象や社会現象を科学的に考察し、理解する上で基本的な役割を担っている。数学の持つ論理の美しさは一度経験するとけっして忘れられるものではないのだが、数学は忌み嫌われることも多い。数学の一面のみを見ている結果と考えられる。今までに習った計算主体の数学ではなく、論理など数学の持つ様々な面に着目し、いろいろな方面から数学の姿を紹介していく。

2SK215 情報の数学

【到達目標】

- ・ 現代教養としての情報科学を学び、問題を論理的に解く力を身につける。
- ・ 日常生活に非常に役立つ論理学、離散数学などの基本的な概念を身につける。
- ・ 手順を踏んで物事を考え、問題を解く力を養う。

【概要】 普段何気なく使っているコンピュータにはいろいろな数学の理論が使われている。メールやインターネットを使うだけでなく、背景にある理論や仕組みを知ることにより、より深くコンピュータを理解し、数学およびコンピュータの面白さを知ってもらうことがこの授業の目標である。コンピュータを使って情報を送ったり、画像処理をしたりといった操作にはどんな数学の理論が使われているのか、論理、回路、暗号、符号、ネットワーク、フラクタル、CG などの中からいくつか話題を取り上げ、文系の学生にも分かり易く紹介する。

2SK216 代数と幾何の基礎

【到達目標】

- ・「ベクトル空間」と「行列」という概念について実例を通じて理解する。
- ・「行列」に関する基本的計算技術を習得する。

【概要】高校で学んだ、平面や空間のベクトルを用いた図形の取り扱い方を発展させた考え方が「線形代数学」であり、この思考法は関連する計算技術とともに、自然科学および社会科学において広く用いられている。この思考法の具体的な表現形式である「数ベクトル空間」や「行列」を中心に、線形代数学の基本的な概念と計算技術について、予備知識を仮定せず、文系の学生にもわかりやすく平易に解説する。

2SK217 代数と幾何の考え方とその応用

【到達目標】

- ・「線形代数学」が、自然・社会科学的現象の分析に有効に利用されることを理解する。
- ・距離を備えた「ベクトル空間」に対する具体的な計算技術を習得する。

【概要】高校で学んだ、平面や空間のベクトルを用いた図形の取り扱い方を発展させた考え方が「線形代数学」であり、この思考法に基づく計算技術は、様々なデータの取り扱いや全体的傾向の分析をはじめ、自然・社会科学的現象の分析に広く活用されている。この「線形代数学」の計算的側面について、様々な応用例に触れつつ、距離を備えた「ベクトル空間」における基本的な計算技術の習得を中心に学ぶ。

2SK218 微分と積分の基礎

【到達目標】

- ・微分と積分の意味、特に微分と積分の関係について理解すること。
- ・微分と積分の計算法に習熟すること。
- ・微分と積分を物体の運動や図形などの具体的な問題に適用できるようになること。

【概要】微分と積分は、物体の運動と接線や面積などの図形問題を統一的に扱うために 17 世紀に体系化された数学の手法であり、当初から科学技術の基礎としての役割を担ってきた。この講義では、微分と積分の意味を理解して基本的な計算法に習熟し、具体的な問題に適用できるようになることを目標として、微分と積分の基本事項について解説する。特に、その発見が微分積分学成立の契機となった微分と積分の関係（微分積分学の基本定理）を理解することに重点を置く。予備知識を仮定せず、文系の学生にもわかりやすく平易に解説する。

2SK219 微分と積分の考え方とその応用

【到達目標】

- ・微分と積分が具体的な自然現象や社会現象分析に有効に利用されることを理解する。
- ・1変数関数のテイラー展開の理論や多変数関数の微分と積分の理論の意味を理解し、簡単な技法を利用できるようになる。

【概要】 自然や社会の現象に現れる平衡状態の記述や様々の最大最小問題などが、微分と積分の概念を用いて表現できることを学ぶ。1変数と多変数の微分と積分の基本的な計算法を修得し、具体的な問題に適用できるようになる。微分や積分を含む方程式の意味と簡単な場合の解法を理解する。

2SK220 確率統計の基礎

【到達目標】

- ・自然科学、人文社会科学を問わず広くツールとして用いられている統計学について、その基礎となる確率の概念を理解する。
- ・確率概念に基づく統計的手法がどのように自然現象や社会現象の理解に利用され、役立っているかを理解する。

【概要】 自然や社会における様々な現象から抽出されたデータを分析する際に必要不可欠なのが統計の考え方である。まず、統計学の基礎となる確率の概念を理解することから始め、確率分布、条件付き確率、独立確率変数の和の分布、大数の法則、中心極限定理などの確率の理論の概要を学ぶ。次に、推定や仮説検定などの統計学の基本的な手法と、それらの応用について学ぶ。予備知識を仮定せず、文系の学生にもわかりやすく平易に解説する。

2SK221 総合教養演習（人間と自然科学）

【到達目標】

- ・「人間と自然科学」領域で課題とする問題を探究し、理解を深める。
- ・議論や発表を通じて、他人の価値観、発想の多様性を認識することで、問題点を広範な視野で捉える力を養う。
- ・主体的、能動的に課題を発見し、分析・検討に必要な情報を収集・整理し、探求していく力を身につける。

【概要】 総合教養科目「人間と自然科学」領域に関連するテーマを取り上げる演習である。2年次以上の全学科学学生を対象とする。異なる学科、異なる学年の学生が一つのテーマの下に集い、議論や発表を通じて、他人の価値観、発想の多様性を認識することで、問題点を広範な視野で捉える力を養う。「人間と自然科学」領域において、学生自身が主体的、能動的に課題を発見し、分析・検討に必要な情報を収集・整理し、教員の直接指導と学生同士の切磋琢磨を通じて、探求していく力を身につける。

■人間自身を知る

《教育目標》

- ・人間とは何かという問いかけに対して、さまざまな切り口から考える力を養う。
- ・これまでの思索の歴史から現代に生きる知恵を学び、自分自身で思索する力を身につける。
- ・科学や文化などの人間の営みをさまざまな視点から分析し、これからの人間や社会の在り方を探る感性を育てる。
- ・人間について実証的研究を行う方法論の基礎を理解し、人間や社会について考える新しい視点を身につける。

2SK301 こころの科学

【到達目標】

- ・実証科学としての心理学の基礎的知識を身につける。
- ・現代心理学が扱う幅広い領域を学び、日常経験する様々な体験、観察する事象について心理学の知見による説明を理解する。
- ・自ら体験した事柄や、観察した事象について授業で取り上げた心理学の知見を当てはめて理解することができる。

【概要】 大学に入り、初めて学ぶことになる心理学という学問への道案内をする。心理学ではどのように人の心を研究しているのかを理解するため、さまざまな心理学の領域における重要な研究を紹介しつつ、心理学の実証的研究の方法、こころに対する科学的なアプローチについても解説する。幅広い心理学の領域を網羅し、その知見を学習することよりも、心理学という学問の特徴の理解に重点をおいた講義を展開する。できるだけ身近な現象の理解に役立つようなテーマを取り上げる。

2SK302 こころと社会

【到達目標】

- ・社会的動物としての人のこころの基礎的仕組みや特徴を理解する。
- ・自己、他者の理解、対人関係、社会的影響、さらには集団間関係、集合現象など、社会における人の心理過程に関する基礎的な知識を習得する。
- ・現実に体験する事柄や社会現象を社会心理学の基礎的な知見に基づき理解することができる。

【概要】 「社会的動物」と言われる人のこころを社会心理学の観点から解説する。人と人が関わる場面での人のこころの働きや、他者から受けるさまざまな形での影響、またさらには個々人の行動の帰結として生じるマクロな現象まで幅広い領域を取り上げる。網羅的に基礎的知見を学習することよりも、いくつかのテーマに絞って人のこころと社会との相互構成的な関係を探る。また、経済学、政治学、社会学などとの関連領域、応用的テーマについてとりあげることもある。

2SK303 こどものこころ

【到達目標】

- ・こどものこころの発達に関する基礎的な知識を習得する。
- ・こどものこころについて社会性の発達と認知的発達の両側面から理解する。
- ・こどものこころの発達を、そのプロセスだけでなく発達を支える社会・文化的要因も含めて理解する。

【概要】人のこころの発達を扱う発達心理学の中でも、特に乳幼児・児童期・青年期を中心に、人のこころの発達過程をとりあげる。発達のメカニズムおよび発達を支える社会・文化的要因も含めて検討する。対人関係の発達、自己の発達、情動発達などの社会性の発達の側面と知覚の発達、言語発達、コミュニケーションの発達などの認知発達の側面の両方を扱う。こころの発達過程に関わる基礎的知識を取り上げるだけでなく、できるだけ新たな知見を取り入れて紹介する。

2SK304 こころの健康

【到達目標】

- ・精神医学の基礎的知識を身につける。
- ・授業で学んだ知識をもとに、自らのこころの健康について考えることができる。
- ・人間のこころの健康と病に関する正しい知識を身につけ、人間のこころのあり方の多様性を理解する。

【概要】本講義では、こころの健康を理解するために、こころの健康に対立するこころの病理を取り上げて解説する。具体的には主な精神疾患をとりあげ、症状、診断、治療に関する基礎的理解を目指す。こころの病理について学ぶことで、健康なこころが持つ特性、あるいはこころの健康を維持する上での問題などを探る。

2SK305 こころの進化

【到達目標】

- ・進化のプロセスに関する基礎的知識を獲得する。
- ・ヒトと他の動物の認知機能の共通項および特異性について学ぶ。
- ・進化という視点から、ヒトのこころの働きを理解する。

【概要】人間や動物の行動をより良く理解するためには、進化と適応という観点から他の動物とヒトの行動の特性を比較することが有用である。この授業では、人間を「ヒト」という生物の一種として位置づけ、その特徴を進化的枠組みの中で理解することを目的とし、人間のこころを進化と適応の観点から考える。また、比較心理学や進化心理学、あるいは比較認知科学といった関連領域の知見も交えて講義を行う。

2SK306 思考と論理

【到達目標】

- ・考え方の道筋としての論理学の基礎を習得する。
- ・論理学の方法の意味を具体的内容にそって理解する。
- ・合理的な思考法を身につける。

【概要】論理学の本質と基礎的テクニックについて平易に説明する。論理を人間の思考に課せられた普遍的・絶対的な枠組みとして捉えるのではなく、世界標準となったヨーロッパの推理作法として捉え、その意味と具体的内容を概観する。証明のテクニックの説明は最小限に抑え、論理的な考え方の初歩のマスターを目指す。合理的思考法とは、どのようなものであるかを理解できるようにする。

2SK307 科学技術と倫理

【到達目標】

- ・科学技術が現代にとってもつ意味を、具体的な場面に即しつつ理解する。
- ・将来の科学技術のあり方についてさまざまな角度から考える力を養う。

【概要】科学技術の発達によって、人間の生活は大きく変わりつつある。一方では生活の利便さが追求され、その恩恵は十分に受けてきたが、同時にそこからもたらされるさまざまな不都合をも引き受けざるを得なくなっている。こうした科学技術の功罪両面について、現代の状況を冷静に見つめ、このような事態に至った歴史的思想的背景を掘り下げ、個別分野における実態を参照しながら、今後どのような方向性を探ることが可能かを多角的に考える。

2SK308 現代人の哲学

【到達目標】

- ・哲学的な考え方の基本を理解する。
- ・時代の問いかけに対し根本から考える力を養う。

【概要】哲学は、ものごとを徹底的に問いただす学問である。ふだん当たり前と思っていることを、その根拠へ向けて深く問い直すとき、自明だと思っていた知識は崩れ、不思議さが思いがけず現れてくる。そこからさらに問い続ける姿勢が哲学の基本となる。これまでの哲学の歴史を振り返りながら、現代においてどのような思索が求められているのか、いくつかのトピックを題材にしながら考える。大切なのは、知識を単に学ぶことではなくて、自ら考えることで問いかける姿勢を身につけることである。

2SK309 西洋の哲学のあゆみ

【到達目標】

- ・西洋の哲学・思想の展開を理解する。
- ・西洋の哲学者・思想家の思索の根底にあるものを理解する。

【概要】古代ギリシア時代から現代に至るまでの西洋の哲学・思想のあゆみを学ぶ。西洋の哲学は、科学や宗教との関わりの中でさまざまな変貌を遂げてきた。そして時には緩やかに時には劇的に変化しながら、時代の特徴を表してもいる。この流れを大づかみに理解しながら、何人かの哲学者あるいは学派の考え方に分け入って、その思考法の特徴を理解する。これを通じて、現在のわれわれにとってどのような思考法が大切かを考える機会にする。

2SK310 東洋の哲学のあゆみ

【到達目標】

- ・日本を含む東洋の哲学・思想の展開を理解する。
- ・東洋の哲学者・思想家の思索の根底にあるものを理解する。

【概要】日本を含めた東洋の思想の流れを理解する。インド、中国、日本は、それぞれ、仏教、儒教・道教、神道などの思想を源流に持ちつつも互いの影響や外来の思想との交流を通じて、歴史の中でさまざまな姿をとってきた。その大きな流れを概括的に捉えつつ、その中からいくつかのトピックを取り上げて、東洋的思考法の特徴を明らかにし、それを通して、われわれの日常生活への活かし方や現代人の心のあり方についても考えるきっかけを提供する。

2SK311 比較思想

【到達目標】

- ・人間の思想と文化的・歴史的背景との間の相互の関係について知識を習得し、分析・考察する力を養う。
- ・人間の思想と文化的・歴史的背景との関係において、個人と集団とのそれぞれのレベルを認識・考察していく力を身につける。
- ・人間の思想の種々の側面を、他者との比較の中で追究する姿勢を養う。

【概要】人間の思想は、さまざまな文化的・歴史的背景を持ちつつ、相互に影響しあっている。それは個人のレベルにおいても、人間の多様な集団のレベルにおいても、共通しているといえる。その人間の思想の種々の側面を、他者との比較のなかで追究していくことを課題とする。

2SK312 宗教学

【到達目標】

- ・宗教および宗教学についての視点と方法を学ぶことを通じ、「宗教とは何か」という問題に向き合う基礎を培う。
- ・現代社会における宗教を学問的に理解することによって、宗教と私たちとの関わりについて考える力を養う。

【概要】宗教学の視点と方法、および宗教に対する思索の歴史など、宗教学の基礎的知識を学び、さらに現代の宗教を学問的に理解する方法と視点を修得することを目的とする。「宗教とは何か」という問題を考えるために、まず対象となる「宗教」をめぐって過去にどのような思索が試みられてきたのか検討し、「宗教」を捉えるための諸々の方法を紹介し、その上で“今”・“ここ”にいる私たちに「宗教」がどのように関わっているのかを考えるための具体的な材料を提供する。

2SK313 日本宗教史

【到達目標】

- ・日本の主要な宗教の歴史について概括的に把握・理解する。
- ・日本社会における宗教観および世界観は、歴史的にどのように形成されてきたかを理解する。

【概要】日本社会において、宗教観および世界観は、どのように展開して現在に至っているのかを
通観する。主に神道と仏教とを軸として、「伝統」や「習俗」が形成される過程をたどることを目
標とする。人々が何を畏れ、敬い、祀り、信じ、生や死とどのように向きあってきたのか、自ら
や周囲をどのようにとらえてきたのかについて、遺された史資料を基に分析し、最新の研究成果
を紹介することにより、それらが現代に生きるわれわれに投げかけているものは何か、というこ
とを考える手がかりとする。

2SK314 宗教と現代社会

【到達目標】

- ・社会生活の中で宗教が果たす役割を、歴史的に理解する。
- ・現代社会の中での宗教のあるべき姿について考える姿勢を養う。

【概要】宗教は古来さまざま姿かたちをとりながら、社会のあり方と密接に関係してきた。政治の
中枢に入り込むこともあったし、戦争や虐殺を引き起こすことさえまれではなかった。しかしそ
の一方で多くの人々の魂の救済の役割を果たし人生の希望となることも少なくなかった。また大
きな社会運動と結びつくこともあった。こうした歴史的文化的な営みとしての宗教を、特定の宗
教に偏ることなく、広い角度から検討することによって、現代社会にとって宗教が果たす役割を
考える。

2SK315 総合教養演習（人間自身を知る）

【到達目標】

- ・「人間自身を知る」領域で課題とする問題を探究し、理解を深める。
- ・議論や発表を通じて、他人の価値観、発想の多様性を認識することで、問題点を広範な視野で捉える力を養う。
- ・主体的、能動的に課題を発見し、分析・検討に必要な情報を収集・整理し、探求していく力を身につける。

【概要】総合教養科目「人間自身を知る」領域に関連するテーマを取り上げる演習である。2年次以上の全学科学生を対象とする。異なる学科、異なる学年の学生が一つのテーマの下に集い、議論や発表を通じて、他人の価値観、発想の多様性を認識することで、問題点を広範な視野で捉える力を養う。「人間自身を知る」領域において、学生自身が主体的、能動的に課題を発見し、分析・検討に必要な情報を収集・整理し、教員の直接指導と学生同士の切磋琢磨を通じて、探求していく力を身につける。

■人間の知的生産

《教育目標》

- ・人間の長い知の営みの中で築かれてきた歴史や文化を様々な角度から捉える力を養う。
- ・世界諸地域の文化や芸術にまで視野を広げ、豊かな知性を養い感性を磨く。
- ・人間の思想、意志、感情や知の営みを表現する手段について理解する。

2SK401 ことばの世界

【到達目標】

- ・言語の構造や言語表現のメカニズムを、社会や文化とのかかわりの中で理解することによって、「ことば」の特質や機能を科学的、客観的に捉える力を養う。
- ・言語学的な捉え方の基礎を身につけることによって、日常生活における「ことば」の実態や変容に対する探究心を身につける。

【概要】 ことばが人間にとってどのような意味を持つのか、社会や文化との関わりの中でことばの役割とは何かという問題意識のもと、私達の身近にありながら、ふだん意識することの少ない「ことば」の機能や特質を客観的にとらえることを目指す。他言語との違いも視野に入れながら、日本語の構造的な特性を明らかにした上で、身近な具体事例を言語学的に分析していく。実際の社会における「生きた」ことばの実態や変容を探ることによって、自然に言語学的な考え方が身につくようにする。

2SK402 日本の文学

【到達目標】

- ・日本の文学について、代表的作品を時代別に取り上げ、それらの芸術的特質や文学的意義をその背景となる歴史と文化の関連において理解する。
- ・文学者たちが自己の人生といかに関わりながら作品を創出したのかを見ることを通じて、自身の文学との関わりを主体的に考えることができる。

【概要】 文学作品には、それが書かれた時代それぞれの文化的状況が色濃く投影されている。一方、伝統的に書き継がれていくことによって地域的な特徴を形作っている。この授業では、日本の文学について、代表的作品を時代別に取り上げる。それらの芸術的特質や文学的意義をその背景となる歴史と文化の関連において理解すること、文学者たちが自己の人生といかに関わりながら作品を創作したのかを見ることを通じて、学生自身が文学との関わりを主体的に考えることを目標とする。

2SK403 児童文学

【到達目標】

- ・児童文学の誕生から現代まで、様々なジャンルの代表的作品を考察することによって、その歴史的な流れを理解する。

- ・児童文学の歴史的概観と、異なるジャンルとの比較対象を通じて、児童文学の特質を理解する。
- ・児童文学をジェンダー的視点で読み解く力を培う。

【概要】 児童文学の誕生から現代までの発展への過程を各時代の代表的な作品にふれながら概観する。絵本からファンタジーまで、さまざまなジャンルの児童文学作品を読み、その多様性にふれながら多角的な視点から考察することによって、児童文学の特質について考える。児童文学の中のフェミニズムや絵本におけるジェンダー的視点も解明する。

2SK404 比較文学

【到達目標】

- ・比較文学研究における主要な方法論を習得する。
- ・国内外の文学テキストを比較しながら分析する力を養う。
- ・多様な異文化を理解し、自らの文化のあり方を問い直していく姿勢を身につける。

【概要】 比較文学は、非言語で表現されたものも含めた広い意味での文学テキストに、複数の文化要素の接触、交錯を見ようとする試みである。日本および海外でなされた代表的な比較文学研究の例を見ることで、研究の主要な方法を学びつつ、国内外の文学テキストを比較しながら分析することを通じて、多様な異文化を理解し、同時に自らの文化のあり方を問い直していくという視座を養う。

2SK405 比較文化

【到達目標】

- ・世界に存在するさまざまな文化や種別(男女やジャンル)について学び、その多様性を理解する。
- ・多様な「文化」の接触から生ずる社会や文化の変容に関する理解を深め、「違い」という境界の意識そのものを多角的に捉えるための基礎を身につける。
- ・チェーン・レクチャーによる超領域的で学際的な視座から文化を捉えることによって、比較文化的な研究を実践する際に基礎となる研究方法を習得する。

【概要】 文化間や種別間(男女やジャンル)の違い、さらには「違い」という境界の意識そのものに関して、交流や衝突、受容や影響、越境などの多様な視座から多角的に照射する。一つのテーマに関して、超領域的で学際的な講述を展開することによって、「文化」に関する学生の理解と意識をたかめるとともに、東西文化・異文化理解・異文化受容をキーワードとして、研究方法としての「比較文化」のありかたと可能性を示す。(チェーン・レクチャー方式)

2SK406 宗教音楽

【到達目標】

- ・音楽史全体の流れの中で、ヨーロッパの宗教音楽がどのような変遷を辿ったのかを把握する。
- ・各時代の宗教音楽の特徴的な様式、技法、演奏形態を理解する。
- ・様々な鑑賞方法を通して、音楽を聴く力を養う。

【概要】 ユダヤ教から大きな影響を受けた初代教会の時代から、現代に至るキリスト教音楽の歩みを解説する。音楽史全般にわたる基本的な流れをふまえながら、中世から現代までの各時代の特徴的な様式、音楽上の技法、演奏形態等を把握しつつ、主にキリスト教的題材に基づく代表的な作品をDVDやCD等の鑑賞を中心に紹介し、教会音楽のもつ魅力を探る。教会音楽を支えてきたパイプオルガンを使用してチャペルで授業を行う場合もある。

2SK407 音楽芸術

【到達目標】

- ・取り上げられた西洋音楽の作品の特質を理解する。
- ・作品における音楽的手法、またその様式・形式を理解する。
- ・様々な鑑賞方法を通し音楽を聴く力を養う。

【概要】 音楽 (music) という言葉は、音芸術を意味する「ミュージズ」(ムーサ) に由来するギリシャ語「ムシケー」に遡る。後の西洋音楽の理論等に多大な影響を及ぼした古代ギリシャの音楽等について文書資料や絵画資料等から情報は得られるものの、当時の音楽的な実態は明らかではない。この授業では、最古の楽譜が現存する単旋律の音楽の後約1千年かけて様々な発展を遂げてきた西洋音楽の中から、個々の時代や作曲家、或いはジャンル別に器楽・声楽作品を取り上げて、それぞれの特徴に注目し、作品における音楽的手法の理解を深めながら、その音楽の持つ芸術性を探る。

2SK408 音楽史

【到達目標】

- ・西洋音楽の歴史的流れを理解し時代・地域ごとの特徴を把握する。
- ・各時代の個々の作品、個々の楽器やジャンル等においてその様式や形式、及び特徴を理解する。
- ・各時代の作曲家と作品の関わりを学びながら、鑑賞する力を養う。

【概要】 中世から現代に至るまでの西洋音楽の歴史を辿りながら、その中でも特に重要な位置を占める器楽・声楽の作品、及び各時代の作品を生み出すために深く関わりを持ってきた様々な楽器や作品のジャンル等に焦点をあてつつ、それぞれの時代における様式上の特徴や作曲上の手法・形式を説明し、代表的な作品を取り上げ、DVD、CD等の鑑賞を中心に解説する。

2SK409 美術論

【到達目標】

- ・個々の美術作品を、各時代の文化と関係づけて適切に理解する。
- ・美術の長い歴史を、連続する流れとして把握できる力を培う。
- ・美術を鑑賞するために必要な基礎的知識を獲得することによって、美術に対する理解を深める。

【概要】 美術を広く文化のなかにあるものとして捉え、美術の意味を明らかにすると同時に、講義を通して美術を見る眼を養い、多様な美術に関心を向けさせることによって、学生の知的生活

を豊かにすることを目的とする。授業では、さまざまな地域・時代の美術を対象に重要なトピックを取り上げ、図版や映像を使用しながらその発展を追う。また、それらがどのような文化状況のなかから生じ、どのような文化的意味をもったかを、文献資料をも併用することによって掘り下げ、美術に対する深い理解を図る。

2SK410 映像論

【到達目標】

- ・個々の映像表現とその歴史的文化的背景を学ぶことによって、映像という媒体の歴史的機能を理解する。
- ・映像芸術の、他の様々な芸術分野と異なる特殊性、表現と受容の多様性に関する理解を深める。
- ・シーン、シークエンスを正確に辿り、その含意するところを考える訓練を通して、映像表現を主体的に理解する力を培う。

【概要】 映像は見れば理解できるのだろうか。自分が見たという「実感」は、はたして自分が「見た」のか、「見せられた」のか。報道映像でさえ、編集や修正次第で、いかようにも異なった事実を伝播する危険性も持っている。この授業では実際に映像作品に触れてその魅力を体験すると同時に、撮影・編集技法、およびそれぞれのフィルムの歴史的・文化的背景を学び、様々な角度から「異文化」として観察することで、映像表現の歴史と可能性、表現と受容の多様性を考察することを目的とする。

2SK411 舞台芸術論

【到達目標】

- ・舞台芸術の歴史について基本的な知識を身につけ、その大きな流れを理解する。
- ・個々の作品を考察することによって、他の様々な芸術分野と異なる特殊性、表現と受容の多様性に関する理解を深める。
- ・演劇・舞踊など舞台芸術を判断する基準を理解する。
- ・舞台芸術の背景となる歴史、文化一般についての基礎的知識を身につける。

【概要】 演劇や舞踊など、さまざまな表現形態をもつ舞台芸術の流れを、実際の作品を鑑賞しながらたどり、その特質を考えることを目標とする。舞台芸術の源流は、祭りに際して、集団を束ねる重要な場として、有史以前から存在していたものと考えられる。その後、舞台芸術は、社会体制、政治体制に応じ、またはそれらの変化に伴い発達していく。この授業では、舞台芸術の歴史や鑑賞法について基本的知識を獲得するとともに、芸術と社会の関連もふくめた全般的な認識を深め、舞台芸術と主体的にかかわる態度を涵養する。

2SK412 日本文化史

【到達目標】

- ・行事・風習・信仰などの日本文化を、歴史的展開を踏まえながら、具体的なイメージを持って理解する。
- ・伝統文化との関連、外国文化との比較などの多角的なアプローチを通じて、日本文化を理解しようとする姿勢を養う。

【概要】 行事・風習・信仰などの日本文化について、歴史的展開を踏まえながら、その特徴を解説する。ビジュアルな調査資料を使用しつつ、有形・無形を問わず我々の身の回りに存在する、多様な文化現象を具体的なイメージを持って把握できるようになることを目標とする。現代の日本文化は伝統文化とどのように連続し、あるいは断絶したのか。そして、外国文化から過去どのような影響を受け、またどのように異なる点が日本の独自性といえるのか、多角的なアプローチも試みながら、日本文化の歩みについて考えていく。

2SK413 日本の伝統芸能

【到達目標】

- ・日本の伝統芸能（能・狂言、歌舞伎、文楽、落語など）に関する基礎的知識を身につける。
- ・日本の伝統芸能をその背景となる歴史と文化の関連において理解する。
- ・次世代へ継承すべき無形文化財である日本の伝統芸能を通じて、日本文化および日本人の思想や価値観について理解を深める。

【概要】 日本の伝統文化として継承されてきた芸能の歴史や特質について、観賞するための基礎となる時代状況や文化的背景を取り上げつつ、具体的な演目を通して学ぶ。また、伝統芸能を観賞するための基礎となる時代状況や文化的背景についても取り上げる。伝統芸能が生活に密着したものであり、現代に通じる部分も多いという点に着目し、演者の巧みな話芸や動きが伝えるメッセージについて、演ずる側の視点も盛り込みながら考えていく。

2SK414 世界の地域と民族

【到達目標】

- ・現代世界の各地域や民族に見られる社会や文化について、その多様性を理解する。
- ・それらの社会や文化を産み出してきた背景を、生態的、歴史的などの諸条件から考察する基礎力を養う。
- ・それらを人類史の中に位置づけて理解する基礎を身につける。

【概要】 世界の諸地域・民族は変動をくり返しながらも、相対的に異なる多様な社会や文化を築いてきた。本授業では、そうした変動のなかにある個々の地域・民族を取り上げ、それらの社会や文化の特徴が産み出されてきた過程を、政治や経済などを含む、生態的条件や歴史的な変動を通して考察し、当該地域・民族への理解を深める。それらの地域・民族の固有の諸問題が中心に論じられるが、ただ単にそれらを孤立した存在として見るのではなく、それらを取り巻く他地域・民族との比較や関係をも視野に入れる。そうしたアプローチを通して、それら諸地域・民族の歴史を、広く人類史の中に位置づけて考察し、理解することを目指す。

2SK415 ヨーロッパの歴史と文化

【到達目標】

- ・ヨーロッパ地域の歴史とその文化的背景に関する基本的な知識を身につけることによって、その多様性と共通性を理解する。
- ・ヨーロッパの文化がどのように形成され、変化してきたかを学ぶことによって、その歴史と現状に関する理解を深める。
- ・ヨーロッパ地域の歴史と文化に関する理解を深めることによって、異文化と主体的に関わる力を培う。

【概要】 ヨーロッパの文化はダイナミックに変化しながら世界に広がり、時に各地の文化と軋轢を引き起こしながら、一方でモデルとしても機能してきた。この授業では、ヨーロッパ地域に現れた歴史上の様々な現象を取り上げ、それがいかなる歴史的、文化的背景から生じてきたか、またそれらの現象が既存の社会や文化をいかに変化させてきたかを探る。それを通し、ヨーロッパの社会や文化がどのように形成されてきたか、そしてそれがいかにして多様性と共通性を産み出し、現状に至ったかを歴史的に理解できるようにする。さらに、この理解の上に、異文化と主体的に関わることの意義を考える。

2SK416 アメリカの歴史と文化

【到達目標】

- ・アメリカ地域の歴史とその文化的背景に関する基本的な知識を身につけることによって、その多様性と共通性を理解する。
- ・アメリカの文化がどのように形成され、変化してきたかを学ぶことによって、その歴史と現状に関する理解を深める。
- ・アメリカ地域の歴史と文化に関する理解を深めることによって、異文化と主体的に関わる力を培う。

【概要】 「アメリカ」と呼ばれている地域は、ひとつの共通性を有する一方、極めて多様な自然・社会・文化を内在させた地域でもある。この共通性と差異性がどのように形成され、その表現方法が転換していったか等を歴史的に考察する。この授業ではこうした観点からアメリカの人々と「私たち」の視点の差異、またそれぞれの関わりを考慮しながら、アメリカの文化・自然の歴史と現状に関する理解を深める。重要なテーマをいくつか抽出し、テキストや映像資料などを用いて解説すると共に、異文化と主体的に関わる態度を涵養する。

2SK417 ラテンアメリカの歴史と文化

【到達目標】

- ・ラテン・アメリカ地域の歴史とその文化的背景に関する基本的な知識を身につけることによって、その多様性と共通性を理解する。
- ・ラテン・アメリカの文化がどのように形成され、変化してきたかを学ぶことによって、その歴

史と現状に関する理解を深める。

- ・ラテン・アメリカ地域の歴史と文化に関する理解を深めることによって、異文化と主体的に関わる力を培う。

【概要】 現在「ラテンアメリカ」と呼ばれている地域は、極めて多様な自然・社会・文化を有する地域である。この授業ではラテンアメリカの人々と「私たち」の視点の差異、またラテンアメリカ諸地域に存在する共通性と多様性を意識しながら、人々の行動の背景にある「文化」がいかなる歴史の中で生まれ、それが現在どのような現象となって現れているかについて理解を深める。この地域の文化的特長を理解する手がかりとなるいくつかの事項について、テキストや映像資料などを用いて解説すると共に、異文化と主体的に関わる態度を涵養する。

2SK418 アジアの歴史と文化

【到達目標】

- ・アジア地域の歴史とその文化的背景に関する基本的な知識を身につけることによって、その多様性と共通性を理解する。
- ・アジアの文化がどのように形成され、変化してきたかを学ぶことによって、その歴史と現状に関する理解を深める。
- ・アジア地域の歴史と文化に関する理解を深めることによって、異文化と主体的に関わる力を培う。

【概要】 アジア各国は文化面をはじめ種々の側面において、多くの共通性を有する一方、地域や歴史による差異性をも有している。この授業では、アジア地域に現れた歴史上の様々な現象を取り上げ、それがいかなる歴史的、文化的背景から生じてきたか、またそれらの現象が既存の社会や文化をいかに変化させてきたかを探る。それを通しアジアの社会や文化がどのように形成されてきたか、そしてそれがいかにして多様性と共通性を産み出し、現状に至ったかを歴史的に理解できるようにする。さらに、この理解の上に、異文化と主体的に関わることの意義を考える。

2SK419 民俗学

【到達目標】

- ・日本民俗学の形成・展開と成果について、基礎的な知識を得る。
- ・「民俗」とは何か、それはどのように資料化され、いかなる理論・方法に基づいて分析・解釈されるかなど、民俗学の学術的方法と特徴について、基礎的理解を身につける。

【概要】 日本民俗学の対象、課題、方法の概要を、それらの変遷・展開や成果の具体例を提示しながら講じる。この学問が対象とする「民俗」とは何か、どこにどのように存在しているのか。それはどのような手続きによって資料化され、どのような理論・方法に基づいて分析や解釈が行われるのか。それらは学史としてどのように変遷・展開を遂げているのか。さらには、伝統社会の変容や、現代の地域・集団の中で人々が育む暮らしや仕事をめぐる文化の動態について、民俗学がいかに肉迫し、どのような成果を挙げてきているか。こういった諸問題を解説する。

2SK420 歴史の見方

【到達目標】

- ・歴史の中に見られる種々の社会集団、民族や地域の関係の在り方を理解する。
- ・社会集団相互の関係性の背後にある歴史的諸条件を探る方法や説明する理論について理解し、問題探究の基礎的方法を身につける。
- ・歴史に対する見方は、地域によって異なること、時代によって変化することを理解し、様々な歴史観を相対化できる力を養う。

【概要】 歴史の中で、人間は種々の社会集団を、階級や人種、性や年齢、国家や地域、民族や言語などにより形成し、それらの間には、支配・被支配、同盟・非同盟、中心・周辺といった様々な関係を取り結んできた。これまでの歴史研究において、それらの諸関係の実態やその形成の歴史的・空間的な諸条件の究明とともに、その研究法、さらにその歴史的意味や解釈などについても種々の理論提起がなされてきた。本授業ではこうした諸関係のうちから一つあるいは複数の問題に光をあてて、歴史的な観点から迫るとともに、それらに関する意味づけや解釈の変化にも言及することで、歴史観の相対化の意義を理解する。

2SK421 現代史の諸相

【到達目標】

- ・現代史を動かしてきたイデオロギー、即ちナショナリズム、社会主義ないし共産主義、ファシズムが、どのように展開したかを理解し、その今日に残る問題への探究心を培う。
- ・現在も絶えない民族対立、人種主義、階級社会と大衆社会が抱える諸問題などを探り、そのメカニズムを理解する基礎的方法を身につける。

【概要】 20世紀以降の世界の歴史を概観し、世界現代史を考察していくうえで必要となる基礎知識の体系的な修得をめざす。具体的には、現代史を動かしてきたイデオロギー、即ちナショナリズム、社会主義ないし共産主義、ファシズムが、どのように展開したかを理解し、その今日に残る問題を考える。また、現在も絶えない民族対立、人種主義、階級社会と大衆社会が抱える諸問題などを探り、そのメカニズムを理解する。同時に、現代史資料の検索方法および代表的な史料の内容紹介、読解・分析と密接にかかわる史料批判の方法等を講述する。現代史を考究していく際に不可欠の基本的技法も、新聞や映像メディア等の素材で補完しながら具体的な理解・修得をはかる。

2SK422 アーカイブの世界

【到達目標】

- ・アーカイブ（記録史料・文書館）に関し、その社会的役割と意義について、基本的な知識を習得する。
- ・記録史料を取り扱う専門職であるアーキビストに関し、その社会的役割と意義について、基本的な知識を習得する。

【概要】 情報化社会が進む現代社会において、氾濫する膨大な情報を取捨選択した上で、記録として管理・保存し、活用可能な形に整えるアーカイブ（記録史料・文書館）にまつわる仕事の必要性は高まっている。近年の「公文書管理法」施行にともない、日本で定着化が進むと目されるアーカイブに関する基本的な知識の習得を目標に、授業を進める。

また、記録史料を取り扱う専門職であるアーキビスト、記録史料にまつわる専門的な保管機関である文書館の社会的役割と意義についても理解を深められるよう、様々な具体的事例を紹介しながら、講義を行う。

2SK423 総合教養演習（人間の知的生産）

【到達目標】

- ・「人間の知的生産」領域で課題とする問題を探究し、理解を深める。
- ・議論や発表を通じて、他人の価値観、発想の多様性を認識することで、問題点を広範な視野で捉える力を養う。
- ・主体的、能動的に課題を発見し、分析・検討に必要な情報を収集・整理し、探求していく力を身につける。

【概要】 総合教養科目「人間の知的生産」領域に関連するテーマを取り上げる演習である。2年次以上の全学科学生を対象とする。異なる学科、異なる学年の学生が一つのテーマの下に集い、議論や発表を通じて、他人の価値観、発想の多様性を認識することで、問題点を広範な視野で捉える力を養う。「人間の知的生産」領域において、学生自身が主体的、能動的に課題を発見し、分析・検討に必要な情報を収集・整理し、教員の直接指導と学生同士の切磋琢磨を通じて、探求していく力を身につける。

■人間社会の仕組みと問題

《教育目標》

- ・法律、政治、経済等の人間社会の仕組みの基本概念と基本原理を理解する。
- ・社会生活の中で合理的な意思決定ができる力を養う。
- ・グローバルな視点から家族・地域・仕事などといった社会の基本となる枠組みを理解し、問題点を探求する力を養う。
- ・国際社会の諸問題を様々な切り口から考える力を養う。

2SK501 日本国憲法

【到達目標】

- ・日本国憲法の基礎概念と憲法学の基本的な考え方を養う。
- ・法的思考の基礎を身につける。

【概要】 この授業では、国の統治機構、基本的人権を中心に、代表的な判例を紹介しながら論点を整理し考察していく。日本国憲法制定の歴史、基本的人権の歴史、プライバシーの権利、法の

下の平等、自由権的基本権、社会権的基本権、統治機構としての立法権、行政権、司法権などを取上げて日本国憲法の基本原理を学び、憲法改正問題についても触れる。

2SK502 公共政策と法

【到達目標】

- ・行政組織（国家行政と地方行政）と法に関する基本的な概念を理解する。
- ・国家行政とそれを支える行政法の総論と行為形式（計画・立法・行為・指導・契約）や行政活動について学び、国家行政と国民のかかわりについて基本的な概念を理解する。
- ・地方行政組織とそれを支える地方自治法の基本的な概念を学び、地方行政と市民のかかわりを理解する。
- ・我々に身近な住民基本台帳、都市計画法、市町村合併、地方交付税などを分析する基礎力を養う。

【概要】 行政法は、国家の基幹に関わると同時に、私たちの身近な生活にも関わる法分野である。この授業では、実際の事例を取り上げながら、行政法の総論部分についての基礎的な内容を紹介する。具体的には、法分野全体における行政法の位置づけを明らかにし、行政組織（地方行政と国家行政）について解説する。つぎに、行政と国民の関わりを考察するとともに、行政の行為形式（計画・立法・行為・指導・契約）についてもふれる。参加・調査および情報収集・政策立案・政策評価・文書管理を概観する。最後に、情報公開や個人情報保護など、最近の問題に触れながら、行政と国民のかかわりを考察する。

2SK503 市民社会と法

【到達目標】

- ・市民生活を広く規律の対象とする民法のしくみを学ぶ。
- ・法による紛争解決の方法や法的なものを見方を身につける。

【概要】 民法は、日本の法体系の中にあって、財産・取引・結婚と離婚、相続といった私たちの市民生活を広く規律の対象とする重要な法律です。この授業では、こうした民法のしくみを学ぶとともに、調停・和解・裁判という法による紛争解決の方法や法的なものを見方を身に付けることを目指します。身近な話題を織り込みながら、主として、民法の「総則」規定を解説していきます。

2SK504 国際社会と人権

【到達目標】

- ・20世紀における国際的人権概念の展開について理解する。
- ・今日世界的な問題となっている難民やジェノサイドなどの難問を理解する。
- ・基礎力を養うとともに、国際人権法の発達についての理解を深める。

【概要】 20世紀の国際人権概念の拡大をふまえた世界の人権発達の歴史を概観し、欧米社会を

軸に広まり、世界各国の憲法に基本的人権の保障として謳われるようになった人権思想の流れについての基礎知識の修得をめざす。人権概念の拡大、国際人権法、人権尊重などに関わる重要なトピックに焦点をあてながら、戦争やジェノサイドの原因ともなってきた、人権侵害の歴史と現在の問題も取り上げる。

2SK505 自治と行政

【到達目標】

- ・自治体の行政や地方自治に関する基礎的な知識を身につける。
- ・自治体の行政や地方自治に関する問題や課題に接するなかで、その解決の一助となるような考え方の基盤をつくる。

【概要】 行政組織や行政活動に関する理解を深めることを目的とする。官僚制組織一般の構造と機能、日本の中央官庁システムの特徴とその歴史の変遷、日本における政治と行政のかかわりと官僚の民主的統制、行政改革の意義と限界、日本における中央と地方政府間の関係、自治体行政の特色、新たな行政課題に対する自治体の挑戦などに関して講義を行う。公務員志望の学生諸君のためにも役立つ講義を目指す。

2SK506 社会学と現代社会

【到達目標】

- ・グローバル化という趨勢の理解に立ち、自己、仕事、家族、地域、教育、文化、メディア、福祉などの社会諸領域の概要を社会的に考察できる。
- ・公務員試験、資格試験などの社会学関連出題への対応するための基礎知識を修得する。

【概要】 グローバル化、自由化という現代社会の構造的変動のなかで、さまざまな社会問題が顕現し、その解決や人間の幸福づくりのための枠組（産業主義、民主主義、合理主義、個人主義など）は問い直され、新しい枠組づくりが模索されている。社会学は枠組の模索という課題の一翼を担い、家族、地域、会社、行政、政治、教育、メディア、文化、科学技術、宗教、エスニシティ、国際関係など広い範囲の問題と関わっている。この授業では、社会的なものへの考え方とはどのような特徴を持つものなのか、具体的な問題を例としながら、社会学というものの考え方の核となるものについて解説する。

2SK507 地域社会論

【到達目標】

- ・グローバル化する地域社会の現況をめぐる社会的な基本概念を身につける。
- ・地域社会での政治参加、経済活動、ボランティアネットワークの形成などについての事例分析などを通し、身近な社会問題の解決の手がかりになるような基礎知識を身につける。

【概要】 日本の社会学は、日本の伝統的な地域社会構造、現代日本の地方都市や中山間地域社会のかかえる問題を明らかにし、他方で高度経済成長以降の日本の地域社会の変動、現代の大都市

のかかえる諸問題などを考察してきた。さらに、現代社会のグローバル化をふまえた、新しい研究が展開され始めている。すなわち、地域の衰退（限界集落、離村、廃村など）、都市貧困層（若年未就労者、高齢者、エスニックマイノリティなど）の増大などが問題となり、解決のために自立支援と共生社会開発の方法が模索されている。こうした地域社会研究、地域文化研究などの成果を紹介しながら、グローバル化する地域社会の問題を考察してゆく。

2SK508 社会保障と社会福祉

【到達目標】

- ・福祉の概念を理解し、その根幹となる社会保障と社会福祉の考え方、共生思想の概要を身につける。
- ・日本の社会保障制度について、公的扶助（生活保護）と社会保険（年金と医療）などの基礎知識を身につける。
- ・高齢者の問題、ジェンダーの問題、医療の問題、障害者の問題などをめぐり、少子高齢社会における社会保障と社会福祉の歴史、現状、将来の課題について概説的な知識を得る。

【概要】 福祉の概念を理解し、その根幹となる社会保障と社会福祉を考える。社会保障は人間の生活にかかわる生活保障の一部である。誕生前の胎児期から死亡までに生じる就職、結婚、出産、傷病、老齢、死亡といったライフサイクルに沿って生じる人生のリスクに対応して社会保障制度が体系化されている。日本の社会保障について、公的扶助（生活保護）と社会保険（年金と医療）の制度を中心に学ぶ。高齢者の問題、ジェンダーの問題、医療の問題などをめぐり、少子高齢社会における社会保障と社会福祉の歴史、現状、将来の課題について学ぶ。

2SK509 情報と社会

【到達目標】

- ・情報技術の発展とそれが社会・文化にもたらす変化について理解する。
- ・情報コンテンツの著作権などをめぐる情報倫理の問題について理解する。

【概要】 コンピュータを中心とする情報技術の発達今日の社会・文化に与えている変化について、歴史的経緯とその意味を考える。コンピュータ技術そのものではなく、そのようなコンピュータのあり方を形成してきた文化的背景を取り上げる。この授業では、現在、インターネットを中心とする情報技術がどのように発展しつつあるのか、またそれがどのような社会・文化の変化をもたらしつつあるのかについて考える。また、その中で、情報コンテンツの著作権などをめぐり、情報倫理の問題がどのように提起され、どのように論じられているのかについても理解する。

2SK510 現代社会と教育

【到達目標】

現代社会における教育をめぐる問題状況の理解を通して、現代社会の仕組みと機能及び課題について探求する視点と方法を身につける。

【概要】 現代社会における子ども・青年の生活と教育をめぐる問題、たとえば、貧困と就職難の問題、学校や教育産業を介して加速される学力競争がもたらす弊害などを、現代社会の仕組みや機能などとの関連で扱います。現代社会の特徴として経済的競争のグローバル化や高度情報化の進行、それにとまなう政治化の浸透を挙げることができますが、人類が追い求めてきた、一人ひとりが自由かつ平等であるという理念を実現するためにはどのような条件が現代社会と教育に求められるか、考察を進めます。

2SK511 近現代日本の政治史

【到達目標】

- ・近現代日本の諸問題を、政治史と連関させて理解する。
- ・近現代日本の歴史に対する理解を深め、日本政治を視る基礎力を養う。

【概要】 鎖国という独自の外交体制をとっていた日本は、西洋諸国のアジア進出の脅威にさらされた。それは独立の危機であり、植民地化の危険性を孕んでいたが、日本の指導者は近代国家を形成し、富国強兵をめざすことで乗り切ろうとした。それは日本の「文明国」化と帝国主義化であり、他方では東アジアでの優越的な地位につながった。日本はやがて大国となったが、昭和期になると既存の国際関係に挑戦し、新たな国家体制の構築に向かい、戦争と敗戦、そして戦後の新たな歩みが始まることになる。本講義は日本の近現代史を、政治・理念・認識を中心に考察する。

2SK512 国際社会と日本

【到達目標】

- ・現在の日本が直面している諸問題（外交、安全保障など）を国際社会との関係で考える力を身につける。
- ・時事的なトピックスだけでなく、国際政治学の基本的な概念も理解する能力を養う。

【概要】 日本と国際社会との関係を多面的に分析し、将来の日本の針路を考えることを講義の目的とする。現在の日本が抱えている外交、安全保障に密接な関係をもつ諸問題について時事的な問題も盛り込みながら講義する。グローバル化によってボーダレス化が進む一方、主権国家体制が存続している現代世界における日本の位置づけについて理解を深める。

2SK513 平和学

【到達目標】

- ・「平和」とは何かについて理解する。
- ・国際関係のあり方と「平和」との関係について理解する。
- ・「平和」・戦争・紛争と人間との係わりを考察しうる基礎力を養う。

【概要】 我々はこれまで「平和」について真剣に考えたことがあったであろうか。「平和」を追求すべきだとの価値観にたつ学問が「平和学」である。この授業では各種の「平和」概念の整理

をしてから、「構造的暴力」や「積極的平和」、「中心と周辺」などの論争的な概念を学び、次いで紛争の原因分析、紛争予防の試み、平和構築などを考察する。

2SK514 ヨーロッパの比較政治

【到達目標】

- ・ヨーロッパ諸国の政治体制と政治ゲームを学ぶことにより、現在のEUの政治外交を理解する力を身につける。
- ・EUの統合の歴史を学ぶ。

【概要】 EUを中心としたヨーロッパ諸国の政治体制、外交政策の比較を行い、ヨーロッパの政治を理解させることを目標とする。統合されたヨーロッパ、多様なヨーロッパの両面を論じることによって、理解を深める。EUの誕生から発展、EUの現状、ユーロの導入、トルコなど非EU諸国の加盟問題、NATOの現代的な位置付け、欧州地域内の民族問題、ヨーロッパ諸国と国連・米国・日本との関係などについて講義を行う。

2SK515 アジアの比較政治

【到達目標】

- ・ASEANを中心としたアジア諸国の政治体制と外交政策を比較研究することで、民族や宗教など複雑なアジア諸国の政治を理解する基礎力を身につける。
- ・権力構造や政党、対外政策など異なる争点を比較する。

【概要】 ASEANを中心としたアジア諸国の政治体制、外交政策の比較を行い、アジアの政治を理解させることを目標とする。アジア諸国は、民族や宗教が多様である半面、稲作文化や港市国家の文化等、多くの共通性も有している。こうした特徴を説明する中で、アジアに対する理解を深めたい。ASEANの設立と現状、ASEAN内における後発諸国の問題、APEC・ARFなどアジアの地域機構の役割、アジアNIESの経済発展、東アジア共同体の可能性などについても触れる。

2SK516 日本の産業と企業

【到達目標】

- ・特定の産業の現状について理解する。
- ・日本経済の動向の中に産業事情を位置づけて理解する。
- ・実際の企業活動、企業戦略について知識を得る。

【概要】 日本のさまざまな産業の現状や特徴、さらには課題について具体的に学ぶことを目的とする。この授業を通して、広く日本経済の動向と日本企業の経営動向・手法等について理解を深めるとともに、日本の産業の展望を探っていく。また産業界の動向に応じて新しいトピックスを取り入れることで、最新の情報にも触れることが出来るよう、講義を進めていくものとする。

2SK517 日本経済のしくみ

【到達目標】

- ・経済学の専門用語を理解する。
- ・経済学的な考え方を身につける。
- ・戦後の日本経済の変遷、またその現状について知識を得る。

【概要】 日本経済は高度経済成長、オイルショック、バブル経済とその崩壊、さらに「失われた20年」を経て、新たな展開を迎えている。また東日本大震災を経た日本経済は新たな対応を迫られることとなった。このような様々な経済の局面、その時々課題と対応を理解するために必要な専門用語や経済的な思考を学び、日本経済をより専門的な視点からとらえる能力を身につけることを目的とする。

2SK518 グローバル経済のしくみ

【到達目標】

- ・経済学の専門用語を理解する。
- ・経済学的な考え方を身につける。
- ・先進国、発展途上国、また新興国の現状と課題について知識を得る。

【概要】 「グローバル経済」は複雑かつ動的である。アメリカ、EU、アジアに代表される経済圏は内的に発展を続け、外的に相互の関係を深めつつある。本講義では先進国、開発途上国、さらには新興国それぞれの現状と課題を概観する。また、経済の専門用語の理解、貿易や為替などの仕組みについても学ぶことで、グローバル経済を論理的にとらえる能力を身につけることを目的とする。

2SK519 アジアの経済事情

【到達目標】

- ・アジアの国々の現状と課題について知識を得る。
- ・各国の課題解決のための基礎を身につける。

【概要】 アジア経済圏はアメリカ、EUに並ぶ巨大経済圏に成長した。これは成長著しい中国、東南アジア諸国の経済発展、また先進国である日本の存在による大きなものと思われる。その一方で、発展から取り残された地域の存在も無視できない。本講義では世界経済をけん引する力強い成長と開発途上国の開発の双方の視座より、アジア経済の現状や課題について理解を深めることを目的とする。

2SK520 国際金融と貿易

【到達目標】

- ・国際金融と国際貿易の基礎を理解する。
- ・経済のグローバル化の現状について知識を得る。

【概要】 現在の日本経済の状態を知るためには、他国の経済や国際的な貿易、金融、労働移動のシステムを理解することが不可欠である。本講義では国際金融と国際貿易に関する基礎的な概念、制度、理論を学ぶことを目的とする。また、現在世界で進行している経済のグローバル化が金融や経済及び国民の労働や生活にもたらす影響や、グローバルな政治経済の中で今後の日本経済の展望について考える。

2SK521 統計のしくみ

【到達目標】

- ・統計的なものの見方を身につける。
- ・統計学の基礎を学ぶ。

【概要】 人間科学や社会科学における実証研究を行う上で必要不可欠になってくる統計的な世界観、その基本的な概念、すなわち、一定の誤差や変動を内包した事象への接近法、基本統計量と統計的推定の考え方、検定の方法などについて、数学が苦手な受講者を想定しつつ一通りの理解をめざす。具体的な項目としては、変数・尺度と適用可能な操作、度数分布表、統計グラフ、代表値、散布度、相関、クロス集計、検定の理論の基礎、 χ^2 乗検定などについて扱う。

2SK522 統計分析を学ぶ

【到達目標】

- ・推測統計を中心とした統計学の概念を理解し、統計的知識を活用してデータを分析できる力を身につける。
- ・データを分析した結果を、正しく解釈する力を身につける。
- ・ある目的のためには、どのようなデータを集め、どのような分析をすることが望ましいか、自らが正しく判断できる力を身につける。

【概要】 統計的知識を活用してデータを分析できる力をつけることを目標とする。具体的には、度数分布、基本統計量、正規分布、変数の標準化、相関と散布図、クロス表などの記述統計という基礎をベースに、確率論の基礎、母集団と標本・標本抽出法のサンプリングの概念、検定・推定の理論とその応用（平均と比率の差の検定、相関係数の検定、クロス表の独立性の検定など）に加え、分散分析、回帰分析、重回帰分析などの一般的なリニアモデルを使った検定や分析方法などを扱う。

2SK523 エネルギー産業と国民生活

【到達目標】

- ・エネルギー産業の特性について理解する。
- ・エネルギー生産、消費の現状について知識を得る。
- ・エネルギーセキュリティとは何かを理解する。

【概要】 本講義は、エネルギー産業の特性を経済学的視点から理解し、電力自由化の理論とその実際について学ぶことを目的とする。東日本大震災後のエネルギー産業の変化、さらには原子力発電とエネルギーセキュリティをめぐる論点など、包括的に扱う。この授業を通じ、今後の電力自由化後の日本のエネルギー供給体制、インフラ投資の必要性などの新たな課題など、最新の情報にも触れることが出来るよう、講義を進めていくものとする。

2SK524 総合教養演習（人間社会の仕組みと問題）

【到達目標】

- ・「人間社会の仕組みと問題」領域で課題とする問題を探究し、理解を深める。
- ・議論や発表を通じて、他人の価値観、発想の多様性を認識することで、問題点を広範な視野で捉える力を養う。
- ・主体的、能動的に課題を発見し、分析・検討に必要な情報を収集・整理し、探求していく力を身につける。

【概要】 総合教養科目「人間社会の仕組みと問題」領域に関連するテーマを取り上げる演習である。2年次以上の全学科学生を対象とする。異なる学科、異なる学年の学生が一つのテーマの下に集い、議論や発表を通じて、他人の価値観、発想の多様性を認識することで、問題点を広範な視野で捉える力を養う。「人間社会の仕組みと問題」領域において、学生自身が主体的、能動的に課題を発見し、分析・検討に必要な情報を収集・整理し、教員の直接指導と学生同士の切磋琢磨を通じて、探求していく力を身につける。

■女性のウェルネス

《教育目標》

- ・女性の生涯の健康を支える基礎知識・手法を習得し、自己管理能力を養う。
- ・身体運動についての理解を深め、実践を通して身体能力の向上をはかる。

2SK601 女性のウェルネス・身体運動 I

【到達目標】

- ・女性の健康を支える基礎的な知識を習得する。
- ・理論と実践から身体運動についての理解を深め、健康における運動の重要性を習得する。
- ・心身のコンディションを自己管理する重要性と基礎的手法を理解し、身につける。

【概要】 身体的にも精神的にも社会的にも良好で生き生きとした状態を積極的に得る為に、女性のライフステージからみた健康と身体運動についての基礎的な知識を学ぶ。そして心身のコンディションを自己管理する重要性と基礎的手法を学び、各種トレーニングを通して自己の身体を認識し、将来起こり得る健康上の様々な状況に適宜対応できる知識と身体能力を養う。また、様々なスポーツによるグループ活動を通してコミュニケーション能力を高める。

2SK602 女性のウェルネス・身体運動Ⅱ

【到達目標】

- ・女性の健康を支える基礎的な方法論を習得する。
- ・各種エクササイズやスポーツの実践を通して、生涯にわたって健康を維持、増進するための正しい運動法を身につけるとともに、身体能力の向上をはかる。
- ・生涯を視野に入れて自分に適した健康法、運動法のプランを立て、主体的に実践していく力をつける。

【概要】 女性が生き生きとした社会生活を営むために必要な健康を支える方法論について学ぶ。自己の身体を各種測定で把握し、望ましい生活習慣と運動による正しい健康増進法を理解する。また、各種エクササイズやスポーツなど、グループ活動を通して他者と共に楽しみながら自己の身体能力やコミュニケーション能力を高め、心身の融合及び健康の維持・増進を図るための正しい運動法を身につける。さらに生涯を視野に入れ、自分に適した健康法、運動法のプランを立て、主体的に実践していく力を養う。

■講義

2SK611 からだの科学

【到達目標】

- ・健康に生きるために必要なからだについての知識や知論を理解する。
- ・効果的な健康法や運動法を習得する。

【概要】 からだや健康に関連することがらについて、日々の生活で身近な話題や日常生活で役立つ内容も多く取り上げながら、からだの機能やメカニズムを科学的に捉え、運動に対する適応の仕組みを学び、積極的に健康を育んでいく姿勢を養う。女性のからだに着目し、妊娠・分娩・婦人科疾患についても学び、健康で自分らしく生きていくためにはどうすれば良いかを考える。

2SK612 発育と発達

【到達目標】

- ・身体の発育と運動の発達について、生物学的原理原則に基づいた基礎的な知識を習得する。
- ・発育・発達には、遺伝的要因や環境要因に大きく影響され個別性が存在することを理解する。

【概要】 子どもは自発的に遊び、子どもなりの方法でその動きを身につけながら育っていくことが理想であるが、現代社会においては必ずしもそのとおりにはいかない数々の事情がある。本講義では、子どものからだの発育・発達の原理・原則を学び、さらに、体力・運動能力に影響する要因や正しい測定・評価方法などの知識を身につける。「育った」結果としての自分を考察するとともに、次世代を「育てる」自分を見据え、子どもの好ましい発育・発達を考える。

2SK613 栄養と健康

【到達目標】

- ・健康に生きるための「食」についての知識・理論・実践法を習得する。
- ・エネルギーのバランスおよびその内容の重要性について理解する。

【概要】 健康に生きるための「食」についての知識、理論、実践法を学ぶ。栄養と運動は健康に直結している。摂取する食のエネルギーと生きているからだを使うエネルギーのバランス及びその内容の重要性について学ぶ。また、現代社会ならではの食の問題について考え、自らの食生活をチェックすることなどを通じて、健康に過ごすための食生活について理解を深める。

2SK614 現代社会と身体

【到達目標】

- ・現代社会における身体を取り巻く諸問題を理解する。
- ・身体を取り巻く諸問題の歴史的変遷を理解する。
- ・健康・差別・メディアの視点から取り上げ、問題点を解決する力を養う。

【概要】 身体を取り巻く様々な問題を取り上げる。急激な情報化がもたらされた現在「自己の存在の希薄化」と「他者との身体的コミュニケーションの困難さ」という身体問題がクローズアップされてきた。ここでは、現代社会の身体を取り巻く諸問題について歴史的変遷を学び、健康と身体・日本人の身体・差別と身体・メディアとしての身体等の事象を取り上げ考える。ジェンダー的視点も取り入れ解決の糸口を探る。

2SK615 女性の健康科学

【到達目標】

- ・性の科学的な認識のもとに、性や生命の問題について理解する。
- ・性や生命の問題について学び直し、解決していく力を養う。

【概要】 女性の基礎的教養として、生涯を通して必要な女性の身体とその機能、それに付随する事柄を科学的に理解することを目標とする。身体の解剖・機能・妊娠・分娩・婦人科疾患などについて基礎的な事柄を理解する。また性の問題や不妊治療、出生前診断などの、生理的知識のみならず、倫理的問題、またジェンダーの視点も加味して、性や生命の問題について考えを深める。

2SK616 性と生命（セクソロジー）

【到達目標】

- ・性の科学的な認識のもとに、性や生命の問題について理解する。
- ・性や生命の問題について学び直し、解決していく力を養う。

【概要】 本講義では生理学、性科学、ジェンダー、性の多様性、人間の性愛とは、性と社会など多面的に考察する。時代の大きな変化の中で「性」のあり方もまた大きく変わりつつある。かつて女性の性は自らの意思や希望によって選ぶことなど許されなかった。結婚する、しない、産む、

産まない等、自己決定や選択の余地はなかったのである。今、それらは選択の対象となった。それは結果について自ら責任を負うことである。自分自身納得できる生き方を貫くためにはどうしたらよいか。性への偏見や思い込みを捨て一から学び直す。

2SK617 女性の心身コンディショニング

【到達目標】

- ・女性特有の不快症状解消および心身のコンディションを整えるための理論を理解する
- ・心身のコンディションを整えるための方法論を習得する。
- ・生涯を健康的で豊かに過ごす力を養う。

【概要】 現代社会は様々なストレスにより心と身体の不調を訴える人々が増加している。この講義では、女性が健やかに一生を送ることができるよう心身のコンディションを整えるための理論と方法論を学ぶ。はじめに身体の構造を学び、不快症状の原因を探る。さらにその解消方法を様々な健康法から学び、実習することにより心身の自己管理能力を養い、生涯を健康的で豊かに過ごす能力を養う。

■実習

2SK621 スポーツA

【到達目標】

- ・屋外でできるスポーツ（テニス・サッカー・ソフトボール等）の技術を習得する。
- ・身体能力の増進をはかり、スポーツを通してコミュニケーション能力を養う。

【概要】 スポーツは、私たちの生活を豊かにすることができる「地球規模の共通文化」である。ここでは様々なスポーツの中から、屋外で出来るスポーツ（テニス、サッカー、ソフトボール等）を取り上げ、基礎技術を習得し、身体能力の増進をはかり、スポーツを通じてコミュニケーション能力を養う。さらに生涯の健康増進も視野に入れ、スポーツを主体的に日常生活に取り入れていくための素養・能力を養う。

2SK622 スポーツB

【到達目標】

- ・屋内でできるスポーツ（バドミントン・卓球・バスケットボール等）の技術を習得する。
- ・身体能力の増進をはかり、スポーツを通してコミュニケーション能力を養う。

【概要】 スポーツは、私たちの生活を豊かにすることができる「地球規模の共通文化」である。ここでは様々なスポーツの中から、屋内で出来るスポーツ（バドミントン、卓球、バスケットボール等）を取り上げ、基礎技術を習得し、身体能力の増進をはかり、スポーツを通じてコミュニケーション能力を養う。さらに生涯の健康増進も視野に入れ、スポーツを主体的に日常生活に取り入れていくための素養・能力を養う。

2SK623 スポーツC

【到達目標】

- ・チャレンジスポーツ（クライミング・ジョギング等）を通し身体能力の増進をはかる。
- ・運動技能の獲得と習熟過程を理解する。

【概要】 様々なスポーツを通して自分に合ったもの及び方法を探り、生き生きとした生活の一部として組み入れることができるよう、実践的に学ぶ。ルールを守り、安全に実施できることも重要な課題である。そのスポーツ特有の面白さを理解し、できないと思っていたことができるようになっていくプロセスを体験することにより、その魅力を第三者にも伝えられるようになることを目指す。

2SK624 スポーツD

【到達目標】

- ・生涯スポーツ（ゴルフ・ニュースポーツ・障害者スポーツ等）を実践していくための基本技術を習得する。
- ・楽しむための素養を身につけることができる。

【概要】 スポーツに関わる形は多様化しており、環境やルールや用具などを選択することにより、幼児から高齢者、体力の低い人や障害のある人でも生涯にわたり楽しむことが可能である。健康の維持・増進だけでなく、趣味や生きがい、社交の場ともなる生涯スポーツの意義や価値を知り、様々な活動の形に興味・関心を持って主体的に関わる態度を養う。基本技術を習得し、「できる」ことを増やすことで生涯スポーツの可能性を広げる。

2SK625 フィジカルエクササイズA

【到達目標】

- ・太極拳の理論を理解する。
- ・基礎的な一連の動きを習得する。
- ・伝統的身体技法を身につける。

【概要】 本授業では伝統的中国養生法、身体技法をとりあげ、現代に生かす身体観、健康観の基礎を築き、身体技法を身につけることを目標とする。心を動かし、そして、身体を動かす。太極拳、練功十八法等を通して、動くことを外から見える身体の運動だけでなく、心の内面の充実、ゆっくり、心と対話しながら、身体の内面を磨くために伝統的身体技法を身につける。

2SK626 フィジカルエクササイズB

【到達目標】

- ・ヨガとピラティスの理論を理解する。
- ・健康に良い姿勢や身体の動かし方を習得する。

・生涯の健康を支える自己管理能力を養う。

【概要】 代表的な健康法として知られているインド発祥のヨガは、特有のポーズと呼吸法で身体全体の免疫力の向上、ストレス緩和効果など、健康の維持や増進に役立つ効果がある。また、ピラティスはリハビリテーション・プログラムとして開発された経緯を持っているため様々な年代においての健康増進や筋力強化に効果がある。ここでは、ヨガやピラティスについての正しい基本的な知識や方法・効果について学び、実習を通してその技法を習得し、生涯の健康を支える自己管理能力を養う。

2SK627 フィジカルエクササイズC

【到達目標】

- ・レジスタンスおよび持久性のトレーニングについて、基礎的な理論を理解する。
- ・目的に応じたトレーニング・プログラムを作成し、実践できる能力を身につける。

【概要】 痩せたい、筋肉をつけたい、スポーツがうまくなりたいなど、目的によって様々なトレーニング方法があり、メディアには多くの情報が氾濫している。しかし、運動（トレーニング）と身体の変化には原理・原則がある。その基礎理論を学ぶことにより、それらの情報の持つ正しい内容を理解できるようになる。目的に応じた適切なトレーニング・プログラムを自ら作成する力をつけ、継続的に実践することにより、自分の身体が変わっていくことを知る。

2SK628 身体表現A

【到達目標】

- ・芸術性を重視したダンス（バレエ等）の歴史の変遷を理解する。
- ・基本技術を習得し、身体を通して表現することができる。
- ・豊かな感性の獲得を目指すことができる。

【概要】 人類の誕生と共に発生したダンスは、歴史・民族・風土・社会と深く関わりながら舞踊文化・身体文化を作り上げてきた。ここでは芸術性を重視したダンス（バレエ等）を取り上げ、その歴史的変遷を学び、各ダンスの特徴を学習していく。同時に基本技術を習得し、身体を通して表現する楽しさや洗練された身のこなし、豊かな感性の獲得を目指す。

2SK629 身体表現B

【到達目標】

- ・現代的なリズムに合わせたダンス（ジャズダンス・ヒップホップ等）の歴史の変遷を理解する。
- ・基本技術を習得し、身体を通して表現することができる。
- ・表現力と感性を高め、身体表現の可能性を高めることができる。

【概要】 身体を通して表現する楽しさや洗練された身のこなし、豊かな感性の獲得を目指す。ここでは現代的なリズムに合わせたダンス（ジャズダンス・ヒップホップ等）の歴史の変遷を学び、基本技術を習得し、身体を通して表現する。音楽にあわせて踊るジャズダンスやヒップホップと

いったダンスを通して身体に意識を向け、ダンステクニックの基礎を習得しながら、表現力と感性を高め、身体表現の可能性を広げる。

2SK630 身体表現C

【到達目標】

- ・和の立ち居振る舞いを理解する。
- ・日本の踊りを習得し、身体を通して表現することができる。
- ・伝統に培われた自然な身体技法を身につけることができる。

【概要】 日本人の身体文化に注目する。日本人の立ち居振る舞い、その特徴、日本の舞踊文化の歴史の変遷を学ぶ。踊りを習得し衣装を付け、身体を通して表現する。授業を通して、日本の伝統文化を発信できる知識も養う。伝統に培われた自然な身体技法を身に付けながら日本文化の真髄をからだで味わい、表現する。

(2) 挑戦する知性科目

《教育目標》

- ・現代社会の問題解決を目指すさまざまな取り組みについて体験的な学びを重ね、われわれをとりまく世界と能動的に関わろうとする姿勢を養う。
- ・目まぐるしく移り変わる現代社会のなかで絶えず更新を迫られる知識とスキルを自律的に学び続け、生涯にわたって自らのキャリアを主体的に構築し続ける力を養う。
- ・国際的な視野をひろげて多文化共生への理解を深めるとともに、外国語の運用能力を駆使して説得的に自己発信する力を養う。

2CC101 女性の起業

【到達目標】

- ・女性による起業をめぐる現状と今後の展望について基礎的な知識を習得する。
- ・起業するまでのプロセスで求められる手続的・技術的な知識を習得する。
- ・商品開発という具体的なタスク達成を通じて、他者を説得するプレゼンテーション力および他者と協働するチームワーク力を高めつつ、課題に挑戦してやり遂げようとする姿勢を身につける。

【概要】 女性が社会で活躍し貢献するための一つのキ・ルートが起業である。本授業では、日本での起業をめぐる問題点や可能性、女性起業家の具体例や資金計画等に関する基礎的な知識を講述したうえで、ディスカッションやプレゼンテーションなどのグループワーク、個別のコンサルティングを通じて、商品企画を起業につなげるための実践的スキルを習得する訓練をおこなう。これにより、女性が実際に起業するまでの道筋を可視化して、起業へと一歩踏み出せるようにする。

2CC102 PBL キャリア構築講座

【到達目標】

- ・議論や発表を通じて、他人の価値観、発想の多様性を認識することで、問題点を広範な視野で捉える力を養う。
- ・主体的、能動的に課題を発見し、分析・検討に必要な情報を収集・整理し、探求していく力を身につける。
- ・現実社会における課題にチームで取り組むことにより、一人ひとりが問題解決力、行動力、リーダーシップをとる能力を高める。

【概要】 本演習は、2年次以上の全学科学生を対象とする。異なる学科、異なる学年の学生が一つのテーマの下に集い、議論や発表を通じて、他人の価値観、発想の多様性を認識することで、問題点を広範な視野で捉える力を養う。学生自身が主体的、能動的に課題を発見し、分析・検討

に必要な情報を収集・整理し、教員の直接指導と学生同士の切磋琢磨を通じて、探求していく力を身につける。この授業は PBL 方式で行い、現実社会における課題にチームで取り組む。一人ひとりが問題解決力、行動力、リーダーシップをとる能力を高めることを目的とする。

2CC103 ニューヨーク国連研修

【到達目標】

- ・議論や発表を通じて、他人の価値観、発想の多様性を認識することで、問題点を広範な視野で捉える力を養う。
- ・主体的、能動的に課題を発見し、分析・検討に必要な情報を収集・整理し、探求していく力を身につける。
- ・国際連合の役割や課題を理解することを通じて、国際的視野を広げ、国際理解を深める。

【概要】 2年次以上の全学科学生を対象とする。異なる学科、異なる学年の学生が一つのテーマの下に集い、議論や発表を通じて、他人の価値観、発想の多様性を認識することで、問題点を広範な視野で捉える力を養う。学生自身が主体的、能動的に課題を発見し、分析・検討に必要な情報を収集・整理し、教員の直接指導と学生同士の切磋琢磨を通じて、探求していく力を身につける。この授業は、将来、国際社会に貢献したいと考える学生を対象に、国際的視野を広げ、国際理解を深めることを目的とする。本演習は、夏期休暇期間中のニューヨーク国連本部における海外研修を伴う。

2CC104 ケンブリッジ教養講座

【到達目標】

本学で身につけた外国語の運用能力を用いた社会・経済・文化に関するテーマの講義・討論・発表等を通じて、個々のテーマに関する知識を拡充し、グローバルな視点で捉える。

【概要】 この科目は、学生の学習機会の多様化を促進し、国際人としての広い社会的視野と深い見識を身につけることを目的とする。本学の夏期休暇中の約4週間、海外の大学で実施する教養講座に参加し、所定の成績を修めた場合の単位認定の科目として設置する。

本学で身につけた外国語の運用能力を用いて、講義・討論・発表等を行なうことで、個々のテーマに関する知識を拡充し、その理解を深めると同時に社会・経済・文化をグローバルな視点で捉える能力の育成をめざす。

2CC105 英語特別プログラム

【到達目標】

- ・ビジネスで必要とされる英語能力をつける。

【概要】 British Council からの派遣講師による、本学学生のために特別に開発されたプログラムを用いた講座。ビジネスなどさまざまな分野で使用する実践的な英語力を養い、職場などで必要となる高度なディスカッション、プレゼンテーション、スピーキング、ライティングのスキルの習得を目指す。特に、履歴書の

作成、願書・申請書などの作成、グラフの作成、プレゼンテーション、電話による応対、ビジネス・ミーティングなどの項目を含む。

200121 日本事情A

【到達目標】

外国人留学生在が日本語で日本の社会について学習することにより、日本に対する理解を深める。あわせて日本語の運用能力を高める。

【概要】 「人間社会の仕組みと問題」をテーマとし、外国人留学生在が日本語で日本の社会について学習することにより、日本に対する理解を深める。あわせて日本語の運用能力を高める。日本以外の国や地域との比較、現代と過去との比較の視点を織り込む。授業は双方向的な演習の要素を取り入れて行う。総合教養科目の「人間社会の仕組みと問題」領域の2単位に代えることができる。

200122 日本事情B

【到達目標】

外国人留学生在が日本語で日本の歴史について学習することにより、日本に対する理解を深める。あわせて日本語の運用能力を高める。

【概要】 「人間の知的生産」をテーマとし、外国人留学生在が日本語で日本の歴史について学習することにより、日本に対する理解を深める。あわせて日本語の運用能力を高める。日本以外の国や地域との比較、現代と過去との比較の視点を織り込む。授業は双方向的な演習の要素を取り入れて行う。総合教養科目の「人間の知的生産」領域の2単位に代えることができる。

200123 日本事情C

【到達目標】

外国人留学生在が日本語で日本の思想、宗教、日本人のこころ等について学習することにより、日本に対する理解を深める。あわせて日本語の運用能力を高める。

【概要】 「人間自身を知る」をテーマとし、外国人留学生在が日本語で日本の思想、宗教、日本人のこころ等について学習することにより、日本に対する理解を深める。あわせて日本語の運用能力を高める。日本以外の国や地域との比較、現代と過去との比較の視点を織り込む。授業は双方向的な演習の要素を取り入れて行う。

総合教養科目の「人間自身を知る」領域の2単位に代えることができる。

200124 日本事情D

【到達目標】

外国人留学生在が日本語で日本の文化について学習することにより、日本に対する理解を深める。あわせて日本語の運用能力を高める。

【概要】 「人間の知的生産」をテーマとし、外国人留学生が日本語で日本の文化について学習することにより、日本に対する理解を深める。あわせて日本語の運用能力を高める。日本以外の国や地域との比較、現代と過去との比較の視点を織り込む。授業は双方向的な演習の要素を取り入れて行う。総合教養科目の「人間の知的生産」領域の2単位に代えることができる。

2CC201 Critical Thinking 演習

【到達目標】

The goals of this course are for students to:

- identify their assumptions about how the world is, to develop critical thinking skills, and to recognize logical fallacies.
- use the skills learned in critical thinking to analyze texts from a variety of sources, acquire broader knowledge and understanding of different subjects, and to explore issues actively and critically.

【概要】 Students in this course will learn to solve problems through the use of critical thinking techniques and strategies. Students will learn to identify their values and prejudices, and compare alternative ways of solving problems in order to make well-reasoned decisions. A major focus of this course will be analyzing arguments and possible logical fallacies in public discourse.

この授業では **critical thinking** の技法や方略を用いて種々の問題を解決することを学ぶ。自分の議論のなかに存在するさまざまな価値基準や先入観を見極め、問題解決のための多様な代替案を比較検討することで、実生活において、より理路整然とした結論を導きだすことを目指す。この授業では、公共の議論の場における言説を対象に、そこにおけるさまざまな議論、そして考えられる数々の論理の間違いや論理のすり替えを分析することに、特に焦点をあてて学習する。

2CC202 発話・パフォーマンス演習

【到達目標】

The goals of this course are for students to:

- nurture their ability for composing logical presentations as well as their skills for delivering the content effectively.
- improve their ability to use a wide variety of sentence patterns by enhancing their vocabulary and expressions.
- acquire broader knowledge and understanding of different subjects, and to explore issues actively and critically.

【概要】 Students will learn not only how to organize presentations through a practical, step by step framework, but also how to deliver presentations effectively with appropriate eye-contact, pronunciation, voice control, etc. Students will practice oral presentations in class

and, with the benefit of video feedback and mutual evaluation, become more proficient at expressing their ideas. Activities such as e-learning will be assigned as out-of-class work in order to help improve general English skills.

英語プレゼンテーションの実践的な枠組みを段階的に学びながら、その内容の作文方法や論の組み立て方を学ぶ。そして、その内容を、適切なアイコンタクト、発音、声の抑揚などを伴って、効果的に伝達する方法を身につける。授業内で実際にプレゼンテーションを実施し、ビデオによるフィードバックや相互評価をもとに、より流暢に英語で考えを表現できるようにする。英語の4つのスキルを総合的に向上させるために授業外の e-Learning の課題を学習することを課す。

2CC203 討論演習 I

【到達目標】

The goals of this course are for students to:

- develop proficiency in elements of public speaking.
- improve oral and written paraphrasing skills with both written and oral materials and to expand vocabulary.
- acquire broader knowledge and understanding of different subjects, and to explore issues actively and critically.

【概要】 This class is a public speaking course which builds upon and extends the skills acquired in the first year of the Career English program. Students will be required to research and analyze the information about their presentation topics, and participate in pair and group dialogues, discussions, and presentations. Students will also be required to complete self and peer assessments. Out-of-class activities will be assigned.

この授業はキャリア・イングリッシュ課程の前年度の授業で習得したさまざまなスキルをふまえ、さらに発展させるパブリック・スピーキングの授業である。学生は、プレゼンテーションのテーマに必要なリサーチを行い、そこで収集した情報を分析する。授業ではペアワーク、グループワーク、ディスカッションに参加し、各自がプレゼンテーションを実施する。また、それらに対する学生による自己評価および相互評価も行われる。授業外での学習が課される。

2CC204 討論演習 II

【到達目標】

The goals of this course are for students to:

- develop proficiency in elements of public speaking.
- develop oral and written paraphrasing skills with both written and oral materials and to expand their vocabulary.
- express their opinions on complex issues readily in discussions.

- acquire broader knowledge and understanding of different subjects, and to explore issues actively and critically.

【概要】 This class is a public speaking course which builds on and extends the skills learned in 討論演習 I. Students will develop their ability to exchange ideas and express their opinions in discussions and speeches on more challenging and complex issues than in 討論演習 I. Students will be required to think critically about the topics brought up by themselves and others and to express their opinions about them logically. Out-of-class activities will be assigned.

この授業は「討論演習 I」で習得したさまざまなスキルをふまえ、さらに発展させるパブリック・スピーキングの授業である。「討論演習 I」で扱った問題よりもより難しく複雑な内容の問題についてディスカッションやスピーチを実施するなかで、英語で意見を交わし考えを述べる力を向上させる。自分あるいは他の学生が提示するテーマに関して批判的に思考し、それに対して論理的に意見を述べることを求められる。授業外での学習も課される。

2CC205 Total Presentation 演習 1

【到達目標】

The goals of this course are for students to:

- develop proficiency in elements of public speaking.
- research, present, and lead discussions on complex issues.
- develop critical and analytical skills about the topics.
- acquire broader knowledge and understanding of different subjects, and to explore issues actively and critically.

【概要】 This seminar is a public speaking course which builds upon and extends the skills learned in the last two years of in the Career English program. Students will develop their English speaking and listening skills through discussions and presentations on a range of challenging issues. Students will study a variety of topics in order to deepen their knowledge and understanding of the topic, enhance their vocabulary and think more critically.

この演習はキャリア・イングリッシュ課程の過去2年間で習得したさまざまなスキルをふまえ、さらに発展させるパブリック・スピーキングの授業である。広範囲にわたる分野の難しい問題についてのディスカッションとプレゼンテーションを行うことで、英語のスピーキングとリスニング能力を向上させる。さまざまなテーマについて学ぶことによって、そのテーマについての知識と理解を深め、関連する語彙を増やし、より批判的に思考することを学ぶ。

2CC206 Total Presentation 演習 2

【到達目標】

The goals of this course are for students to:

- develop further proficiency in elements of public speaking.
- research, present, and lead discussions on thought-provoking and complex issues.
- develop critical and analytical skills about the topics.
- acquire broader knowledge and understanding of different subjects, and to explore issues actively and critically.

【概要】 This seminar is the final public speaking course in the three-year Career English program and builds upon and extends the skills learned in Total Presentation 演習 1.

Students will develop their English speaking and listening skills further through in-depth discussions and presentations on a range of challenging issues. Students will study a variety of topics extensively in order to deepen their knowledge and understanding of the topic, enhance their vocabulary and think more critically.

この演習はキャリア・イングリッシュ課程3年間の最後のパブリック・スピーキングの授業であり、「Total Presentation 演習1」で習得したさまざまなスキルをふまえ、さらに発展させる。広範囲にわたる分野の難解な問題についての徹底的なディスカッションとプレゼンテーションを行うことで、英語のスピーキングとリスニング能力をさらに向上させる。広範囲のさまざまなテーマについて学ぶことによって、そのテーマについての知識や理解を深め、テーマに関連した語彙を増やし、より批判的に思考する。

(3)キリスト教学科目

《教育目標》

- ・聖書を通してキリスト教を学び、建学の精神を理解する。
- ・キリスト教の歴史や思想、さらにキリスト教と芸術や社会との関わりを理解する。

■必修科目

2XX101 キリスト教学Ⅰ（入門Ⅰ）

【到達目標】

東京女子大学の建学の精神であるキリスト教とその土台としての聖書（入門Ⅰでは旧約聖書）の内容を理解する。

【概要】 東京女子大学とキリスト教の関係を学ぶことによって、本学の「建学の精神」を理解する。さらにキリスト教の全体像を学び、そのキリスト教の土台である聖書を学ぶ。入門Ⅰでは、「旧約聖書」の主たる内容を理解し、これらの学びを通して、現代世界に生きる自らの人生について考える。

2XX102 キリスト教学Ⅰ（入門Ⅱ）

【到達目標】

東京女子大学の建学の精神であるキリスト教とその土台としての聖書（入門Ⅱでは新約聖書）の内容を理解する。

【概要】 入門Ⅱでは「新約聖書」を通してキリスト教の基礎を学ぶ。イエス・キリストの生涯とその教えを学び、とりわけキリストの十字架と復活の出来事の意味を理解し、さらにパウロらによる初代教会の歩みを学ぶ。これらの学びを通して、現代世界に生きる自らの人生について考える。

■選択必修科目

2XX201 キリスト教学Ⅱ（旧約聖書の世界）

【到達目標】

旧約聖書の精読を通してその思想を理解する。

【概要】 キリスト教の正典の前半を構成している旧約聖書には、複雑な歴史と多様な文化、中近東特有の自然風土のなかで培われてきた豊かで奥深い思想（価値観、世界観、人間理解への洞察を含む）が観られる。それらは新約聖書にも流れ込み、キリスト教の重要な思想的基盤ともなっ

ている。本講義ではいくつかの主要テーマを取り上げ、聖書テキストの精読とともに、歴史と文化、及び自然風土等の背景理解の手助けを借りながら、キリスト教の基本的理解を確かにする。

2XX202 キリスト教学Ⅱ（新約聖書の世界）

【到達目標】

新約聖書の精読を通してその思想を理解する。

【概要】 キリスト教の正典の後半を構成している新約聖書には、旧約聖書から受け継ぎ、複雑な歴史と多様な文化との関わりの中で展開した思想（価値観、世界観、人間理解への洞察を含む）が観られる。本講義ではいくつかの主要テーマを取り上げ、聖書テキストの精読とともに、歴史と文化、及び自然風土等の背景理解の手助けを借りながら、キリスト教の基本的理解を確かにする。

2XX203 キリスト教学Ⅱ（キリスト教と女性）

【到達目標】

現代に生きる女性の自己確立の課題に向き合う力を養い、キリスト教の女性観を理解する。

【概要】 旧約聖書の創世記における男女の創造から始まり、聖書に記された女性に関する物語や教えを検証しながら聖書の女性観を理解する。また、キリスト教の歴史において重要な貢献をした女性たちの思想や活動を学びながら、現代に生きる女性の生き方を考える力を養う。

2XX204 キリスト教学Ⅱ（キリスト教の歴史）

【到達目標】

キリスト教の歴史を理解する。

【概要】 二千年前のキリスト教の成立から始まり、古代、中世、近代を経て今日に至るまでのキリスト教の歴史を概観する。その際、時代を特徴づける人物や出来事に触れ、現代を生きる我々にどのような関連を持つのかを考える力を修得する。

2XX205 キリスト教学Ⅱ（日本のキリスト教）

【到達目標】

日本におけるキリスト教の歴史・思想・文化を理解する。

【概要】 16世紀のキリスト教伝来から今日に至るまでの、日本におけるキリスト教の歴史を概観し、キリスト教が日本の文化・教育・社会に与えた影響を広く理解する。さらに、重要な貢献をなしたキリスト者や運動を取り上げ、その思想と活動を考察し日本人とキリスト教の関係をの理解を深める。

2XX206 キリスト教学Ⅱ（世界のキリスト教）

【到達目標】

世界の諸地域に広がるキリスト教を理解する。

【概要】 キリスト教は全世界に広がっているが、時代により地域によりそれぞれ独自の発展をしてきた。本講義では、ヨーロッパ、アメリカ、アジア、アフリカの諸地域のキリスト教を取り上げ、世界の諸地域のキリスト教の歴史や実情を理解する。

2XX207 キリスト教学Ⅱ（キリスト教と社会）

【到達目標】

キリスト教と社会、とりわけ現代社会との関係を理解する。

【概要】 キリスト教が社会の形成にどのような役割を果たしてきたのか、さらに現代社会のかかえる諸問題とキリスト教がどのように関わり、実践活動を繰り広げているかを理解する。

2XX208 キリスト教学Ⅱ（キリスト教と現代の宗教事情）

【到達目標】

世界の様々なキリスト教の立場と諸宗教を理解する。

【概要】 キリスト教はローマ・カトリック教会、東方正教会、プロテスタントの諸教会の3つの流れに分かれて展開してきた。この三者の思想、組織のあり方等を比較し、それらの特徴を理解する。また、世界に存在する諸宗教の中から主だったもの（ユダヤ教、イスラム教、仏教等）を取り上げ、キリスト教と比較しながら諸宗教を学ぶことにより、現代の宗教事情を読み解く力を養う。

2XX209 キリスト教学Ⅱ（キリスト教と倫理）

【到達目標】

現代社会の諸問題を考えつつ、キリスト教の倫理を理解する。

【概要】 グローバル化し多元化する現代社会において、人はいかに生きるべきか（生の哲学）という問いをはじめとして、様々な今日的問い（性、環境、戦争等）にいかに応え得るのか。近代以降の倫理学の展開、その前提と枠組みを意識しつつ、キリスト教独自の倫理を、聖書テキストの精読を中心に、考える力を養う。

2XX210 キリスト教学Ⅱ（キリスト教の思想）

【到達目標】

キリスト教の教理の基本思想を理解する。

【概要】 約二千年前イスラエルの地に誕生した教会は、その後ギリシア・ローマ世界に拡大した。することとなる。神について、イエス・キリストについて、人間について、世界について、キリスト教はどのように考えてきたのか。こうした、その後の欧米文化の土台となったキリスト教独自の思想を理解する。

2XX211 キリスト教学Ⅱ（キリスト教と芸術）

【到達目標】

キリスト教と芸術・文化との関わりを理解する。

【概要】 キリスト教が芸術・文化に与えてきた影響や、キリスト教が生み出してきた芸術・文化について学び、芸術や文化形成におけるキリスト教の役割について理解を深める。

2XX212 キリスト教学Ⅱ（キリスト教と文学）

【到達目標】

キリスト教と文学作品との関わりを理解する。

【概要】 文学作品には作者の生き方や思想が反映されているが、それらは多くの場合、意識的にあるいは無意識的に宗教や伝統から大きな影響を受けている。キリスト教の影響を大きく受けている欧米の文学作品を初めとして、日本及び諸外国の様々な作品を題材に、文学とキリスト教との関係を理解する。

■ 選択科目

2XX301 キリスト教学Ⅲ（聖書と文化）

【到達目標】

聖書の精読を通して、その歴史や思想を理解する。

【概要】 キリスト教をより深く理解するためには、聖書そのものの包括的、多角的理解が欠かせない。本講義では、特に聖書と文化との関わりに光を当て、キリスト教の中心思想及び諸文書の文学形式が、当時の文化を背景にしてどのように形成され展開していったのか、理解を深める。

2XX302 キリスト教学Ⅲ（キリスト教の歴史と文化）

【到達目標】

キリスト教の歴史と文化を理解する。

【概要】 キリスト教の歴史における重要な出来事や人物、運動、制度などを取り上げ、その意義を理解する。世界宗教としてのキリスト教が歴史、文化形成にどのように寄与したのかを深く掘り下げ、現代の諸問題とも関連づけて考える力を養う。

2XX303 キリスト教学Ⅲ（キリスト教の思想と文化）

【到達目標】

キリスト教が生み出した思想や関連する文化を理解する。

【概要】 キリスト教の思想が、いかに西洋の思想や文化の基盤となっているかを理解する。さらに現代では、キリスト教思想がアジアやアフリカを含む世界の諸地域に広がり、新しい文化世界を生み出しているかを理解する。

アカデミック・スキル科目

《教育目標》

- ・本学での勉学を完成する上で必要とされる基礎学力・学習方法を習得する。

(4)外国語科目

第一外国語

《教育目標》

- ・国際的に共通語として使われることの多い英語を用いたコミュニケーション能力を伸ばす。
- ・読む、聞く、話す、書くの4技能のいずれに於いても運用能力を伸ばし、英語の受信・発信ができる力を養う。
- ・使用される状況に応じた英語を使い分ける能力を育てる。
- ・専門分野の学習につながる英語力の基礎を培うとともに、社会における活動に役立つ応用力を身につける。

■必修科目

2FF101 Communication Skills A

【到達目標】

日常のコミュニケーションにおいて必要とされる英語表現を学んで、聞き話す力を養い、会話のスキルを伸ばす。

【概要】 英語によるコミュニケーションに必要なリスニングおよびスピーキング能力を養うこと、的英語の運用能力を育成する。特に、日常会話の中で頻出する語彙、連語、決まり文句、丁寧表現等に焦点を当てる。ロールプレイやグループワーク等の教室活動を通して、会話能力を高め、効果的なコミュニケーションのテクニックの習得を目指す。

2FF102 Communication Skills B

【到達目標】

日常のコミュニケーションにおいて必要とされる英語表現を学んで、聞き話す力を養い、筋道立てて会話するスキルをつける。

【概要】 英語によるコミュニケーションに必要なリスニングおよびスピーキング能力を養うことを目標とする。日常生活のコミュニケーションにおいて必要とされる英語表現を学ぶことで、実

践的な英語の運用能力を育成する。特に、日常会話の中で頻出する語彙、連語、決まり文句、丁寧表現等に焦点を当てる。ロールプレイやグループワーク等の教室活動を通して、会話能力を高め、効果的なコミュニケーションのテクニックの習熟を目指すとともに、ストーリーテリングの力も養うことを目指す。

2FF103 Reading I A

【到達目標】

個々の文を正確に理解した上で、パラグラフの構成を理解し、パラグラフの繋がり、さらには文章の大意を把握する力を養う。

【概要】 高等学校卒業までに学んだことを土台に、大学で学ぶ専門領域の文献を英語で読む上で必要とされる基礎的な言語技能の習得を目標とする。特に、個々の文の正確な理解、パラグラフの理解、パラグラフ間のつながりの把握、文章の大意の把握等に重点を置きながら、基本的な読解力を養う。授業のほかに、CALL 教室を使用しての自習プログラム(e-learning)を義務付けている。

2FF104 Reading I B

【到達目標】

個々の文、パラグラフの繋がり、さらには文章の大意を把握する力を養い、文章の論理的整合性や論理的帰結を考える力を身に着ける。

【概要】 大学で学ぶ専門領域の文献を英語で読む上で必要とされる基礎的な言語技能の習得を目標とする。特に、個々の文の正確な理解、パラグラフの理解、パラグラフ間のつながりの把握、文章の大意の把握等に重点を置きながら、基本的な読解力を養うとともに、文章の論理的整合性や論理的帰結を考える力を伸ばす。授業のほかに、CALL 教室を使用しての自習プログラム(e-learning)を義務付けている。

2FF105 Discussion Skills A

【到達目標】

グループでの議論を理解し、積極的に参加する力を養う。

【概要】 英語のスピーキング能力をペアワーク、グループワークを通して高めることを目指す。社会問題などさまざまなトピックに関する意見交換、グループ・ディスカッションにより、英語力のみならず、クリティカル・シンキング能力を養成する。ディスカッションに必要な語彙、文法、言語の機能を学ぶことに重点を置く。

2FF106 Discussion Skills B

【到達目標】

グループでの議論を理解し、積極的に参加する力を伸ばす。

【概要】 英語のスピーキング能力をペアワーク、グループワークを通して高めることを目指す。「Discussion Skills A」より難易度の高い論説文などを読み、社会問題などさまざまなトピックに関する意見交換、グループ・ディスカッションにより英語力のみならず、クリティカル・シンキング能力を養成する。3、4年次の専門につながる、高いレベルのディスカッションに必要な語彙、文法、言語の機能を学ぶことに重点を置く。

2FF107 Reading II A

【到達目標】

様々なタイプの文章の読解を通し、情報を集め判断し、英語による論理構築を把握する力を向上させる。

【概要】 1年次の「Reading IA, IB」で習得した基礎的な英語を読む言語技能を土台に、より高度な教材を用い、更なる読解力の向上を目指す。大学で学ぶ専門領域の文献を読むための、英文読解のコツを学ぶことが第一の目的であるが、論理的に構成された英語の長文を読むことで、学術研究に不可欠な思考力を養うことも重要な目的である。扱う英文のジャンルは論説文、時事問題、エッセイ、短編小説など多岐にわたる。

2FF108 Reading II B

【到達目標】

様々なタイプの文章の読解を通し、情報を集め判断し、英語による論理構築を把握する力を向上させる。

【概要】 1年次の「Reading IA, IB」で習得した基礎的な英語を読む言語技能を土台に、より高度な教材を用い、更なる読解力の向上を目指す。大学で学ぶ専門領域の文献を読むための、英文読解のコツを学ぶことが第一の目的であるが、論理的に構成された英語の長文を読むことで、学術研究に不可欠な思考力を養うことも重要な目的である。扱う英文のジャンルは論説文、時事問題、エッセイ、短編小説など多岐にわたる。「Reading IIA」よりも難易度の高い題材を用いる。

■ 選択必修科目

2FF111 Speaking Skills A

【到達目標】

聞き、語り、議論するなど、会話に関わる能力を総合的に強化する。

【概要】 必修科目である Communication Skills A, B で学んだことを踏まえ、さらに口頭でのコミュニケーション能力を高めることを目標とする。相互交渉を行いながら進めるさまざまな会話の型を学び、語用論上のスキルや異文化間コミュニケーションに関するスキルの向上を目指し、効果的にコミュニケーションを行う力を養う。文法よりも言語の機能に焦点を当て、トピックには、アドバイス、旅行、休暇、健康、大学生活などを含む。教室活動は、グループワークが中心である。

2FF112 Speaking Skills B

【到達目標】

聞き、語り、議論するなど、会話に関わる能力を総合的に強化する。

【概要】 口頭での英語コミュニケーション能力を高め、英語で話す自信を深めることを目標とする。相互交渉を行いながら進める高いレベルの会話の型を学ぶと同時に、語用論上のスキルや異文化間コミュニケーションに関するスキルの向上を目指し、効果的にコミュニケーションを行う力を養う。トピックとしては、日常的な事柄に始まり、世界情勢、経済、意見の対比、意思決定など多岐にわたる。教室活動は、グループワークが中心である。

2FF113 Listening and Presentation A

【到達目標】

聞き取る力を伸ばし、様々なタイプの理解しやすいプレゼンテーションの仕方を学ぶ。

【概要】 英語の聴解能力を高め、実際に各自が選んだトピックについてプレゼンテーションを行うことによってプレゼンテーション能力を身につけることを目標とする。視覚的にプレゼンテーションをすることも目指す。

2FF114 Listening and Presentation B

【到達目標】

聞き取る力を伸ばし、様々なタイプの理解しやすいプレゼンテーションの仕方を学ぶ。

【概要】 英語の聴解能力を高め、実際に各自が選んだトピックについてプレゼンテーションを行うことによってプレゼンテーション能力を身につけることを目標とする。授業の進め方は、「Listening and Presentation A」と同様であるが、より多様で高度なプレゼンテーション能力の養成を目指す。

2FF115 Critical Reading and Discussion A

【到達目標】

多様な読解によって表現力を伸ばし、流暢に議論できる力を養う。

【概要】 「Discussion Skills A,B」および「Reading IA, IB」で学んだスキルをふまえた科目である。さまざまなテーマに関して英語で書かれたものを批判的に読み、議論をするスキルを養うことを主な目標とする。各自が集めた英文で書かれた雑誌、新聞記事などの内容を要約し、更にその記事のテーマに沿って意見交換をし、説得に導く議論をするという教室活動を通してそのスキルを養うことを試みる。更に、英語で書かれたものを数多く読むことによって語彙を増やすと共に、速読のスキルを養うことも目指す。

2FF116 Critical Reading and Discussion B

【到達目標】

多様な読解によって表現力を伸ばし、流暢に議論できる力を養う。

【概要】 幅広いテーマに関して英語の長文を速読し、議論する力を身に付けることを目標とする。各自が集めた記事の内容を要約し、更にその記事のテーマに沿って議論をするという教室活動を通してそのスキルを養うことを試みる。雑誌、新聞記事のほかに評論も読む。教室活動では、特に相手を論理的に説得するための方略に焦点を当てる。「Critical Reading and Discussion A」と同様に、英語で書かれたものを数多く読むことによって語彙を更に増やすことも目指す。

2FF117 Journalistic English A

【到達目標】

マスメディアで用いる英語を理解し駆使する力を養う。

【概要】 ジャーナリズムの世界で用いられる英語の特徴を習得することを目標とする。新聞記事に焦点を当て、その中で使われる語彙、文法や見出しの構造を学んだ上で、各自新聞記事の書き方に沿って記事を書くことを試みる。周辺のニュースになり得る題材を見つけ、それについて英語で新聞記事を書くというプロジェクトを完成させる。さらに、各自が選んださまざまな新聞記事等を読んで分析し、それについてディスカッションを展開する能力を養う。

2FF118 Journalistic English B

【到達目標】

マスメディアで用いる英語を理解し駆使する力を養う。

【概要】 ジャーナリズムの世界で用いられる英語の特徴を習得することを目標とする。新聞記事に用いられる英語だけでなく、ラジオ、テレビ、インターネットなど他のメディアの英語にも焦点を当てる。それらに用いられる英語表現を学ぶと共に、内容についてもディスカッションを行う力を養う。プロジェクトとしては、誰かにインタビューをし、それについて英語で記事を書くことを試みる。

2FF119 Academic Writing A

【到達目標】

英文の特徴を理解し、正確かつ自然な英語を書く力を養う。

【概要】 必修科目で学んだ総合的な英語力を土台に、多岐にわたる英文を批判的に読み、豊富な語彙や英語表現を身につけるだけでなく、思考する能力を養うこと、エッセイ・ライティングのスキルを習得することに重点を置きながら、さらにライティングの力を高めることを目標とする。各自が選んだトピックに関するエッセイを英文で書き、数回の修正を重ね、最終的に洗練されたエッセイとすることを目指す。

2FF120 Academic Writing B

【到達目標】

英文の特徴を理解し、正確かつ自然な英語を書く力を養う。

【概要】 「Academic Writing A」と同様に、必修科目で学んだ総合的な英語力を土台に、「Academic Writing A」より高度な英文を批判的に読み、豊富な語彙や英語表現を身につけるだけでなく、思考する能力を養うこと、エッセイ・ライティングのスキルを習得することに重点を置きながら、さらにライティングの力を高めることを目標とする。各自が選んだトピックに関する英文をピア・エディティングなどのグループ・ワークも取り入れて、修正を重ね、最終的に洗練されたエッセイを英文で書くことを目指す。

2FF121 English through Drama A

【到達目標】

様々な創造的な活動を通し、自信を持って口頭でコミュニケーションができる力を伸ばす。

【概要】 英語で書かれたドラマを読むだけでなく、実際に演じることで英語の発音を体得し、英語のリズム、表現方法を学ぶ。パフォーマンスを通して、公の場で英語によるプレゼンテーションを自信をもって、また楽しみながら行うことを目的とする。また言語による表現のみならず、身体を使つての表現を伴うドラマのパフォーマンスにより創造性を養う。「English through Drama B」とは異なるジャンルのドラマを扱う。

2FF122 English through Drama B

【到達目標】

様々な創造的な活動を通し、自信を持って口頭でコミュニケーションができる力を伸ばす。

【概要】 英語で書かれたドラマを読むだけでなく、実際に演じることで英語の発音を体得し、英語のリズム、表現方法を学ぶ。パフォーマンスを通して、公の場で英語によるプレゼンテーションを自信をもって、また楽しみながら行うことを目的とする。また言語による表現のみならず、身体を使つての表現を伴うドラマのパフォーマンスにより創造性を養う。「English through Drama A」とは異なるジャンルのドラマを扱う。

2FF131 Business English A

【到達目標】

ビジネスで必要とされる英語能力をつける。

【概要】 一般的なビジネスの分野で使用する実践的な英語力を養い、職場などで必要となるスピーキング、ライティング、ディスカッション、プレゼンテーションのスキルの習得を目指す。特に、ビジネスで用いられる基本的な語彙・表現の習得、ビジネスメールや履歴書、願書、申請書などの作成、プレゼンテーション、電話による応対などの項目を含む。

2FF132 Business English B

【到達目標】

ビジネスで必要とされる英語能力をつける。

【概要】 ビジネスの様々な分野で使用する実践的な英語力を養い、職場などで必要となる、より高度なスピーキング、ライティング、ディスカッション、プレゼンテーションのスキルの習得を目指す。特に、依頼や交渉の実践、ビジネス・ミーティング、企業のリサーチ、企業文化や習慣についてのディスカッションなどの項目を含む。

2FF133 Translation A

【到達目標】

文体や設定の違う英文／和文のテキストを、ジャンルや読者層に合った日本語／英語に訳せるようになることを目標とする。

【概要】 日本語と英語の双方の感覚を研ぎ澄まして、言語の背景にある文化も考慮に入れ、ジャンルや読者層に合った英語／日本語に翻訳する能力を養う。各自が提出した訳文を、担当教員が添削し、その後、グループワークを通して推敲し、完成原稿を提出することで、日本語／英語の原文が表現する世界をこなれた英語／日本語で表現する力を体得する。「Translation A」は主に英語から日本語への翻訳を取り扱う。

2FF134 Translation B

【到達目標】

文体や設定の違う英文／和文のテキストを、ジャンルや読者層に合った日本語／英語に訳せるようになることを目標とする。

【概要】 日本語と英語の双方の感覚を研ぎ澄まして、言語の背景にある文化も考慮に入れ、ジャンルや読者層に合った英語／日本語に翻訳する能力を養う。各自が提出した訳文を、担当教員が添削し、その後、グループワークを通して推敲し、完成原稿を提出することで、日本語／英語の原文が表現する世界をこなれた英語／日本語で表現する力を体得する。「Translation B」は主に日本語から英語への翻訳を取り扱う。

2FF135 Tour Guide Interpreting A

【到達目標】

外国人に日本を紹介する通訳ガイドとして必要な知識と英語力を身につける。

【概要】 外国人に日本の歴史・文化を英語で説明するためには、高度な語学力と日本事情全般に関する広範囲の知識が問われる。この授業では、そのための基礎となる英語力を養うとともに、日本について改めて学び、日本の歴史や文化を説明できる力を養成する。国際交流の場では日本について説明を求められる機会が多いため、日本のことを英語で発信する力を身に付けることは、通訳者を目指さない一般の学習者にとっても有効である。

2FF136 Tour Guide Interpreting B

【到達目標】

外国人に日本を紹介する通訳ガイドとして必要な知識と英語力を身につける。

【概要】 外国人に日本の歴史・文化を英語で説明するためには、高度な語学力と日本事情全般に関する広範囲の知識が問われる。この授業では、多様な英語変種に対応できる聴解力を含む、より高度な英語力と、日本的な事象について専門的に説明ができる力を養成する。資格取得を見据えた授業ではあるが、日本語と英語を磨き、その語学力を将来のキャリアにつなげたいと考える一般の学習者にとっても有効である。

2FF141 TOEIC 講座

【到達目標】

TOEIC の概要を知り、実際の受験に向けた準備ができた状態に至る。

【概要】 国際的な英語力測定試験において期待される成果が収められるような実力を形成することを第一の目的としつつ、TOEIC の試験対策に終わらず、社会でも役立つ実践的な英語力を養成することを目指す。TOEIC の内容・目的の説明とそれに備えた準備訓練を行い、授業内で TOEIC 模擬試験を体験する。

2FF142 TOEFL 講座

【到達目標】

TOEFL iBT の概要を知り、実際の受験に向けた準備ができた状態に至る。

【概要】 国際的な英語力測定試験において期待される成果を収められるような実力を形成することを第一の目的としつつ、TOEFL iBT の試験対策に終わらず、留学や社会などで役立つ実践的な英語力を養成することを目指す。TOEFL iBT 試験の内容・目的の説明とそれに備えた準備訓練を行い、授業内で TOEFL iBT 模擬試験を体験する。

2FF143 IELTS 講座

【到達目標】

IELTS の概要を知り、実際の受験に向けた準備ができた状態に至る。

【概要】 国際的な英語力測定試験において期待される成果を収められるような実力を形成することを第一の目的としつつ、IELTS の試験対策に終わらず、留学や社会などで役立つ実践的な英語力を養成することを目指す。IELTS 試験の内容・目的の説明とそれに備えた準備訓練を行い、授業内で IELTS 模擬試験を体験する。

■ 選択科目

2FF151 Basic Communicative English

【到達目標】

語彙を増やし、聞き、話す基礎的な会話の能力を養う。

【概要】 英語能力が充分ではないと感じている学生のために設けられた科目である。1年次の必修科目である Communication Skills A, B の授業を自信をもって受けることができるように、十分な聴解力と話す力を身につけ、英語でのコミュニケーション能力を養う。特に文法や発音に加えて、自然なコミュニケーションを行う上で必要な英語表現を学び、基本的な日常の事柄を口頭で述べるような力を養う。週2コマの授業。

2FF152 Intensive English

【到達目標】

聞き、話し、読み、書く4技能を伸ばす。

【概要】 この科目は、本学が企画し外国の大学が提供する語学研修（英語）、および本学があらかじめ認めた外国の大学が実施する語学研修（英語）に参加した学生が、所定の成績を修めた場合の単位認定科目である。語学研修は、聞き、話し、読み、書く4技能にわたる語学力の向上と異文化体験による自己研鑽をはかることを目的に実施され、参加学生のレベルを考慮したクラス編成により授業が行われる。学生には、事前学習会等への出席が義務付けられている他、準備段階から積極的に自己の語学力を高めていく努力が望まれる。

2FF161 日本語Ⅰ(入門)

【到達目標】

外国人留学生在が大学での学習に必要な基礎的な日本語スキルを習得する。

【概要】 外国人留学生在が大学での学習に必要な基礎的な日本語スキルを習得することを目標とする。「日本語Ⅰ(入門)」は、入門として受講者の日本語能力を考慮し、運用能力の向上を目指す。受講者個々の理解度を確認しつつ、2名の担当者が相互に連絡・調整を行いながら進める。「日本語Ⅱ(応用)」とともに第一外国語の必修単位である。週4コマの授業。

2FF162 日本語Ⅱ(応用)

【到達目標】

外国人留学生在が大学での学習に必要な日本語運用能力を高める。

【概要】 外国人留学生在が大学での学習に必要な基礎的な日本語スキルを習得することを目標とする。「日本語Ⅰ(入門)」で学んだことを応用して、さらに日本語の運用能力の向上を目指す。専門科目等で必要な発表、プレゼンテーションの技術も修得する。受講生個々の理解度を確認しつつ、担当者相互に連絡・調整を行いながら進める。

「日本語Ⅰ（入門）」とともに第一外国語の必修単位である。週4コマの授業。

第二外国語

《教育目標》

○選択必修科目(初級)

・読み、書き、聞き、話すための基礎を、文法と発音を中心として習得する。

○選択科目

・初級で習得した基礎を踏まえ、大学における学習、社会における活動に役立てられる応用力を身につける。

・それぞれの言語が用いられる地域の社会・文化への理解を深め、国際的な視野を広げる。

■選択必修科目

2FF201 ドイツ語初級

【到達目標】

ドイツ語を応用するための基礎を修める。

【概要】 初級では、正確な発音、基本的な文法のシステム、日常生活に必要な表現、語彙を集中的に学び、言語運用に不可欠な基礎的な力を培う。一通りの基本学習を終えた後は、比較的平易な文の読解や作文練習などによって語彙や表現の拡大を目指す。

ドイツ語は、英語やオランダ語などとともに西ゲルマン語に属し、語彙や文法など様々な面で英語との共通点が多い。それゆえ、ドイツ語を学ぶことによって英語を客観的に見る視点を養い、類縁言語比較の面白さを感じ得できるようになることも視野に入れる。

異文化理解への目を開くと同時に、現代社会のグローバル化に伴い英語圏以外の地域に知識の幅を広げることを目的とする。週2コマの授業。

2FF202 フランス語初級

【到達目標】

フランス語を応用するための基礎を修める。

【概要】 初級では、正確な発音、基本的な文法のシステム、日常生活に必要な表現、語彙を集中的に学び、言語運用に不可欠な基礎的な力を培う。一通りの基本学習を終えた後は、比較的平易な文の読解や作文練習などによって語彙や表現の拡大を目指す。

論理的な明晰性と洗練を特徴とし、18世紀以降国際外交語としての地位を保ってきたフランス語は、ラテン語をもとにできた言語である。英語の語彙はラテン語やフランス語の影響を強く受けて発展してきたので、相互に学習を助け合える英仏2言語の学習が、国際人へと成長する第一歩となるよう、学力の向上を図る。

異文化理解への目を開くと同時に、現代社会のグローバル化に伴い英語圏以外の地域に知識の幅を広げることを目的とする。週2コマの授業。

2FF203 スペイン語初級

【到達目標】

スペイン語を応用するための基礎を修める。

【概要】 初級では、正確な発音、基本的な文法のシステム、日常生活に必要な表現、語彙を集中的に学び、言語運用に不可欠な基礎的な力を培う。一通りの基本学習を終えた後は、比較的平易な文の読解や作文練習などによって語彙や表現の拡大を目指す。

スペイン語は、母語人口で世界第3位、国際連合の公用語の一つであり、公用語としている国も20カ国にのぼる。また、現代のアメリカ社会を学ぼうとするにはスペイン語は欠かせない。世界の人々と交流し、国際的にも通用し得る学力の習得に至るよう向上を図る。

異文化理解への目を開くと同時に、現代社会のグローバル化に伴い英語圏以外の地域に知識の幅を広げることを目的とする。週2コマの授業。

2FF204 中国語初級

【到達目標】

中国語を応用するための基礎を修める。

【概要】 初級では、正確な発音、音の表記に最も広く用いられているピンイン（ローマ字を用いる）、基本的な文法のシステム、日常生活に必要な表現、語彙を集中的に学び、言語運用に不可欠な基礎的な力を培う。一通りの基本学習を終えた後は、比較的平易な文の読解や作文練習などによって語彙や表現の拡大を目指す。

中国語は、東アジア歴史、文化について学び、これへの理解を深めようとする者にとって、欠かせない言語の一つである。

異文化理解への目を開くと同時に、現代社会のグローバル化に伴い英語圏以外の地域に知識の幅を広げることを目的とする。週2コマの授業。

2FF205 韓国語初級

【到達目標】

韓国語を応用するための基礎を修める。

【概要】 初級では、ハングルを覚え、正確な発音、基本的な文法のシステム、日常生活に必要な表現、語彙を集中的に学び、言語運用に不可欠な基礎的な力を培う。一通りの基本学習を終えた後は、比較的平易な文の読解や作文練習などによって語彙や表現の拡大を目指す。

日本語に最も近い外国語である韓国語は日本人にとって習得し易く、合理的に工夫された表音文字ハングルを覚えるのは容易である。しかし「似ている」と思われている隣合う日韓の文化には大きく異なる面もある。韓国語の学習を通して、異なった文化や考え方に触れる貴重な機会と

もさせる。

異文化理解への目を開くと同時に、現代社会のグローバル化に伴い英語圏以外の地域に知識の幅を広げることを目的とする。週2コマの授業。

■ 選択科目

2FF211 ドイツ語（読解）A

【到達目標】

- ・ 比較的平易なドイツ語の文章を自分で読み取り、内容を理解できる力を身に着ける。
- ・ 初級で身に着けた文法知識を発展させ、読解に役立てる実践的方法を習得する。
- ・ 使用頻度のきわめて高い基本的な語彙、表現を体系的に習得する。

【概要】 初級で学んだ基礎の発展を目指す。専門科目履修に必要な外国語の力を、様々な教材を用いて養うと同時に、異なる言語文化の多様なあり方に接し、高度の一般教養を培う役割も果たす授業を設けている。

本科目においては、様々なジャンルのテキストに親しみ、また、初級で習得した文法・語彙に関する知識を発展させ、辞書を用いて独力で正しい理解を得られるレベルに達することを目標とする。この科目は同じ言語の初級4単位を既に修得したものが履修できる。

2FF212 ドイツ語（読解）B

【到達目標】

- ・ 実際にドイツ語圏で読まれている、平均的な難度の内容・構文の、ある程度まとまりを持った長さの文章を、一定の時間で読み取り、内容を理解できる力を身に着ける。
- ・ 既習の文法知識をさらに発展させ、読解に役立てる実践的方法を習得する。
- ・ 使用頻度の高い一般的な語彙、表現を体系的に習得するとともに、専門的な文章に対応するための基礎的な読解力を身に着ける。
- ・ 読解力の向上を通して、ドイツ語文化圏への理解を深める。

【概要】 読解力の養成を主たる目標とし、幅広いジャンルのテキストを教材に用いて、さらに複雑な構文、発展的語彙の理解と習得に努める。テキストを隅々まで正確に精読する訓練と、限られた時間で長文の大意を掴む訓練の、両者を平行して行う。併せてテキストの背景をなすドイツ語圏の歴史・社会・文化への理解を一層深めることを図る。専攻する分野の学習や、社会人としての活動にも役立つよう、総合的な授業を行う。

この科目は同じ言語の初級4単位を既に修得したものが履修できる。

2FF213 ドイツ語（作文と文法）

【到達目標】

- ・ 既習の知識を発展させ、正しいドイツ語の文章を作るために必要な文法を習得する。

- ・ドイツ語で表現するための基本的語彙・表現を習得する。
- ・ドイツ語で基本的な文を綴ることができる技能を習得する。
- ・「書く」力と「聞き・話し・読む」力を関連付ける総合的な語学能力の基礎を習得する。

【概要】 初級で学んだ基礎の発展を目指す。専門科目履修に必要な外国語の力を、様々な教材を用いて養うと同時に、異なる言語文化の多様なあり方に接し、高度の一般教養を培う役割も果たす授業を設けている。

本科目においては、作文を通して、文法の知識を深めながら、ドイツ語の応用力を高める。この科目は同じ言語の初級4単位を既に修得したものが履修できる。

2FF214 ドイツ語（会話）

【到達目標】

- ・日常会話でよく使われる語彙や表現を身につける。
- ・実践的で応用範囲の広い、口頭でのコミュニケーション技能の基礎を習得する。
- ・会話を軸として、ドイツ語を正しく運用し、意思を疎通させる力を身につける。
- ・「聞く・話す」力と「読む・書く」力を関連付ける総合的な語学能力の基礎を習得する。

【概要】 初級で学んだ基礎の発展を目指す。専門科目履修に必要な外国語の力を、様々な教材を用いて養うと同時に、異なる言語文化の多様なあり方に接し、高度の一般教養を培う役割も果たす授業を設けている。

本科目においては、聞く力をつけながら、口頭による表現力を向上させることを主眼とする。この科目は同じ言語の初級4単位を既に修得したものが履修できる。

2FF221 フランス語（読解）A

【到達目標】

- ・比較的平易なフランス語の文章を自分で読み取り、内容を理解できる力を身に着ける。
- ・初級で身に着けた文法知識を発展させ、読解に役立てる実践的方法を習得する。
- ・使用頻度のきわめて高い基本的な語彙、表現を体系的に習得する。

【概要】 初級で学んだ基礎の発展を目指す。専門科目履修に必要な外国語の力を、様々な教材を用いて養うと同時に、異なる言語文化の多様なあり方に接し、高度の一般教養を培う役割も果たす授業を設けている。

本科目においては、様々なジャンルのテキストに親しみ、また、初級で習得した文法・語彙に関する知識を発展させ、辞書を用いて独力で正しい理解を得られるレベルに達することを目標とする。この科目は同じ言語の初級4単位を既に修得したものが履修できる。

2FF222 フランス語（読解）B

【到達目標】

- ・実際にフランス語圏で読まれている、平均的な難度の内容・構文の、ある程度まとまりを持つ

た長さの文章を、一定の時間で読み取り、内容を理解できる力を身に着ける。

- ・既習の文法知識をさらに発展させ、読解に役立てる実践的方法を習得する。
- ・使用頻度の高い一般的な語彙、表現を体系的に習得するとともに、専門的な文章に対応するための基礎的な読解力を身に着ける。
- ・読解力の向上を通して、フランス語圏文化への理解を深める。

【概要】 読解力の養成を主たる目標とし、幅広いジャンルのテキストを教材に用いて、さらに複雑な構文、発展的語彙の理解と習得に努める。テキストを隅々まで正確に精読する訓練と、限られた時間で長文の大意を掴む訓練の、両者を平行して行う。併せてテキストの背景をなすフランス語圏の歴史・社会・文化への理解を一層深めることを図る。専攻する分野の学習や、社会人としての活動にも役立つよう、総合的な授業を行う。

この科目は同じ言語の初級4単位を既に修得したものが履修できる。

2FF223 フランス語（作文と文法）

【到達目標】

- ・既習の知識を発展させ、正しいフランス語の文章を作るために必要な文法を習得する。
- ・フランス語で表現するための基本的語彙・表現を習得する。
- ・フランス語で基本的な文を綴ることができる技能を習得する。
- ・「書く」力と「聞き・話し・読む」力を関連付ける総合的な語学能力の基礎を習得する。

【概要】 初級で学んだ基礎の発展を目指す。専門科目履修に必要な外国語の力を、様々な教材を用いて養うと同時に、異なる言語文化の多様なあり方に接し、高度の一般教養を培う役割も果たす授業を設けている。

本科目においては、作文を通して、文法の知識を深めながら、フランス語の応用力を高める。

この科目は同じ言語の初級4単位を既に修得したものが履修できる。

2FF224 フランス語（会話）

【到達目標】

- ・日常会話でよく使われる語彙や表現を身につける。
- ・実践的で応用範囲の広い、口頭でのコミュニケーション技能の基礎を習得する。
- ・会話を軸として、フランス語を正しく運用し、意思を疎通させる力を身につける。
- ・「聞く・話す」力と「読む・書く」力を関連付ける総合的な語学能力の基礎を習得する。

【概要】 初級で学んだ基礎の発展を目指す。専門科目履修に必要な外国語の力を、様々な教材を用いて養うと同時に、異なる言語文化の多様なあり方に接し、高度の一般教養を培う役割も果たす授業を設けている。

本科目においては、聞く力をつけながら、口頭による表現力を向上させることを主眼とする。

この科目は同じ言語の初級4単位を既に修得したものが履修できる。

2FF231 スペイン語（読解）A

【到達目標】

- ・比較的平易なスペイン語の文章を自分で読み取り、内容を理解できる力を身に着ける。
- ・初級で身に着けた文法知識を発展させ、読解に役立てる実践的方法を習得する。
- ・使用頻度のきわめて高い基本的な語彙、表現を体系的に習得する。

【概要】 初級で学んだ基礎の発展を目指す。専門科目履修に必要な外国語の力を、様々な教材を用いて養うと同時に、異なる言語文化の多様なあり方に接し、高度の一般教養を培う役割も果たす授業を設けている。

本科目においては、様々なジャンルのテキストに親しみ、また、初級で習得した文法・語彙に関する知識を発展させ、辞書を用いて独力で正しい理解を得られるレベルに達することを目標とする。この科目は同じ言語の初級4単位を既に修得したものが履修できる。

2FF232 スペイン語（読解）B

【到達目標】

- ・実際にスペイン語圏で読まれている、平均的な難度の内容・構文の、ある程度まとまりを持った長さの文章を、一定の時間で読み取り、内容を理解できる力を身に着ける。
- ・既習の文法知識をさらに発展させ、読解に役立てる実践的方法を習得する。
- ・使用頻度の高い一般的な語彙、表現を体系的に習得するとともに、専門的な文章に対応するための基礎的な読解力を身に着ける。
- ・読解力の向上を通して、スペイン語文化圏への理解を深める。

【概要】 読解力の養成を主たる目標とし、幅広いジャンルのテキストを教材に用いて、さらに複雑な構文、発展的語彙の理解と習得に努める。テキストを隅々まで正確に精読する訓練と、限られた時間で長文の大意を掴む訓練の、両者を平行して行う。併せてテキストの背景をなすスペイン語圏の歴史・社会・文化への理解を一層深めることを図る。専攻する分野の学習や、社会人としての活動にも役立つよう、総合的な授業を行う。

この科目は同じ言語の初級4単位を既に修得したものが履修できる。

2FF233 スペイン語（作文と文法）

【到達目標】

- ・既習の知識を発展させ、正しいスペイン語の文章を作るために必要な文法を習得する。
- ・スペイン語で表現するための基本的語彙・表現を習得する。
- ・スペイン語で基本的な文を綴ることができる技能を習得する。
- ・「書く」力と「聞き・話し・読む」力を関連付ける総合的な語学能力の基礎を習得する。

【概要】 初級で学んだ基礎の発展を目指す。専門科目履修に必要な外国語の力を、様々な教材を用いて養うと同時に、異なる言語文化の多様なあり方に接し、高度の一般教養を培う役割も果たす授業を設けている。

本科目においては、作文を通して、文法の知識を深めながら、スペイン語の応用力を高める。
この科目は同じ言語の初級4単位を既に修得したものが履修できる。

2FF234 スペイン語（会話）

【到達目標】

- ・日常会話でよく使われる語彙や表現を身につける。
- ・実践的で応用範囲の広い、口頭でのコミュニケーション技能の基礎を習得する。
- ・会話を軸として、スペイン語を正しく運用し、意思を疎通させる力を身につける。
- ・「聞く・話す」力と「読む・書く」力を関連付ける総合的な語学能力の基礎を習得する。

【概要】 初級で学んだ基礎の発展を目指す。専門科目履修に必要な外国語の力を、様々な教材を用いて養うと同時に、異なる言語文化の多様なあり方に接し、高度の一般教養を培う役割も果たす授業を設けている。

本科目においては、聞く力をつけながら、口頭による表現力を向上させることを主眼とする。
この科目は同じ言語の初級4単位を既に修得したものが履修できる。

2FF241 中国語（読解）A

【到達目標】

- ・比較的平易な中国語の文章を自分で読み取り、内容を理解できる力を身に着ける。
- ・初級で身に着けた文法知識を発展させ、読解に役立てる実践的方法を習得する。
- ・使用頻度のきわめて高い基本的な語彙、表現を体系的に習得する。

【概要】 初級で学んだ基礎の発展を目指す。専門科目履修に必要な外国語の力を、様々な教材を用いて養うと同時に、異なる言語文化の多様なあり方に接し、高度の一般教養を培う役割も果たす授業を設けている。

本科目においては、様々なジャンルのテキストに親しみ、また、初級で習得した文法・語彙に関する知識を発展させ、辞書を用いて独力で正しい理解を得られるレベルに達することを目標とする。

この科目は同じ言語の初級4単位を既に修得したものが履修できる。

2FF242 中国語（読解）B

【到達目標】

- ・実際に中国語圏で読まれている、平均的な難度の内容・構文の、ある程度まとまりを持った長さの文章を、一定の時間で読み取り、内容を理解できる力を身に着ける。
- ・既習の文法知識をさらに発展させ、読解に役立てる実践的方法を習得する。
- ・使用頻度の高い一般的な語彙、表現を体系的に習得するとともに、専門的な文章に対応するための基礎的な読解力を身に着ける。
- ・読解力の向上を通して中国語文化圏への理解を深める。

【概要】 読解力の養成を主たる目標とし、幅広いジャンルのテキストを教材に用いて、さらに複雑な構文、発展的語彙の理解と習得に努める。テキストを隅々まで正確に精読する訓練と、限られた時間で長文の大意を掴む訓練の、両者を平行して行う。併せてテキストの背景をなす中国語圏の歴史・社会・文化への理解を一層深めることを図る。専攻する分野の学習や、社会人としての活動にも役立つよう、総合的な授業を行う。

この科目は同じ言語の初級4単位を既に修得したものが履修できる。

2FF243 中国語（作文と文法）

【到達目標】

- ・既習の知識を発展させ、正しい中国語の文章を作るために必要な文法を習得する。
- ・中国語で表現するための基本的語彙・表現を習得する。
- ・中国語で基本的な文を綴ることができる技能を習得する。
- ・「書く」力と「聞き・話し・読む」力を関連付ける総合的な語学能力の基礎を習得する。

【概要】 初級で学んだ基礎の発展を目指す。専門科目履修に必要な外国語の力を、様々な教材を用いて養うと同時に、異なる言語文化の多様なあり方に接し、高度の一般教養を培う役割も果たす授業を設けている。

本科目においては、作文を通して、文法の知識を深めながら、中国語の応用力を高める。

この科目は同じ言語の初級4単位を既に修得したものが履修できる。

2FF244 中国語（会話）

【到達目標】

- ・日常会話でよく使われる語彙や表現を身につける。
- ・実践的で応用範囲の広い、口頭でのコミュニケーション技能の基礎を習得する。
- ・会話を軸として、中国語を正しく運用し、意思を疎通させる力を身につける。
- ・「聞く・話す」力と「読む・書く」力を関連付ける総合的な語学能力の基礎を習得する。

【概要】 初級で学んだ基礎の発展を目指す。専門科目履修に必要な外国語の力を、様々な教材を用いて養うと同時に、異なる言語文化の多様なあり方に接し、高度の一般教養を培う役割も果たす授業を設けている。

本科目においては、聞く力をつけながら、口頭による表現力を向上させることを主眼とする。

この科目は同じ言語の初級4単位を既に修得したものが履修できる。

2FF251 韓国語（読解）A

【到達目標】

- ・比較的平易な韓国語の文章を自分で読み取り、内容を理解できる力を身に着ける。
- ・初級で身に着けた文法知識を発展させ、読解に役立てる実践的方法を習得する。
- ・使用頻度のきわめて高い基本的な語彙、表現を体系的に習得する。

【概要】 初級で学んだ基礎の発展を目指す。専門科目履修に必要な外国語の力を、様々な教材を用いて養うと同時に、異なる言語文化の多様なあり方に接し、高度の一般教養を培う役割も果たす授業を設けている。

本科目においては、様々なジャンルのテキストに親しみ、また、初級で習得した文法・語彙に関する知識を発展させ、辞書を用いて独力で正しい理解を得られるレベルに達することを目標とする。

この科目は同じ言語の初級4単位を既に修得したものが履修できる。

2FF252 韓国語（読解）B

【到達目標】

- ・実際に韓国語圏で読まれている、平均的な難度の内容・構文の、ある程度まとまりを持った長さの文章を、一定の時間で読み取り、内容を理解できる力を身に着ける。
- ・既習の文法知識をさらに発展させ、読解に役立つ実践的方法を習得する。
- ・使用頻度の高い一般的な語彙、表現を体系的に習得するとともに、専門的な文章に対応するための基礎的な読解力を身に着ける。
- ・読解力の向上を通して、韓国語文化圏への理解を深める。

【概要】 読解力の養成を主たる目標とし、幅広いジャンルのテキストを教材に用いて、さらに複雑な構文、発展的語彙の理解と習得に努める。テキストを隅々まで正確に精読する訓練と、限られた時間で長文の大意を掴む訓練の、両者を平行して行う。併せてテキストの背景をなす韓国語圏の歴史・社会・文化への理解を一層深めることを図る。専攻する分野の学習や、社会人としての活動にも役立つよう、総合的な授業を行う。

この科目は同じ言語の初級4単位を既に修得したものが履修できる。

2FF253 韓国語（作文と文法）

【到達目標】

- ・既習の知識を発展させ、正しい韓国語の文章を作るために必要な文法を習得する。
- ・韓国語で表現するための基本的語彙を習得する。
- ・韓国語で基本的な文を綴ることができる技能を習得する。
- ・「書く」力と「聞き・話し・読む」力を関連付ける総合的な語学能力の基礎を習得する。

【概要】 初級で学んだ基礎の発展を目指す。専門科目履修に必要な外国語の力を、様々な教材を用いて養うと同時に、異なる言語文化の多様なあり方に接し、高度の一般教養を培う役割も果たす授業を設けている。

本科目においては、作文を通して、文法の知識を深めながら、韓国語の応用力を高める。

この科目は同じ言語の初級4単位を既に修得したものが履修できる。

2FF254 韓国語（会話）

【到達目標】

- ・日常会話でよく使われる語彙や表現を身につける。
- ・実践的で応用範囲の広い、口頭でのコミュニケーション技能の基礎を習得する。
- ・会話を軸として、韓国語を正しく運用し、意思を疎通させる力を身につける。
- ・「聞く・話す」力と「読む・書く」力を関連付ける総合的な語学能力の基礎を習得する。

【概要】 初級で学んだ基礎の発展を目指す。専門科目履修に必要な外国語の力を、様々な教材を用いて養うと同時に、異なる言語文化の多様なあり方に接し、高度の一般教養を培う役割も果たす授業を設けている。

本科目においては、聞く力をつけながら、口頭による表現力を向上させることを主眼とする。

この科目は同じ言語の初級4単位を既に修得したものが履修できる。

ギリシア語・ラテン語

《教育目標》

・西洋古典語の基礎文法を習得し、原典を読み解く力の基礎を身につけるとともに、西洋の思想・文化への理解を深める。

■ 選択科目

2FF301 ギリシア語初級 1

【到達目標】

- ・古典ギリシア語の音読の方法を習得する。
- ・古典ギリシア語の基礎文法のうち、基本的な項目について理解する。

【概要】 西洋思想の源流であるギリシア哲学や新約聖書をより深く理解するためには、古典ギリシア語の単語や文法について一定の知識が必要となる。この授業では、音読の方法や名詞・動詞・形容詞の基礎的な変化を理解することを通じて、古典ギリシア語が持つ基本的な性格を概観することを目指す。

2FF302 ギリシア語初級 2

【到達目標】

- ・古典ギリシア語の基礎文法のうち、応用的な項目について理解する。
- ・古典ギリシア語で書かれた原典を読み解く力の基礎を身につける。

【概要】 この授業では、「ギリシア語初級 1」に引き続き古典ギリシア語の基礎文法の習得を進める。

名詞・形容詞の第三変化や動詞の中動・受動相、接続法などを理解することを通じて、古典ギリシア語で書かれた原典を読み解く力の基礎を養う。

2FF303 ラテン語初級 1

【到達目標】

- ・古典ラテン語の音読の方法を習得する。
- ・古典ラテン語の基礎文法のうち、基本的な項目について理解する。

【概要】 古代から中世を経て近代に至る長い歴史をもつラテン語の規範である古典ラテン語は、人文諸科学を学ぶ者に必須の基本的教養である。この授業では、音読の方法や名詞・動詞・形容詞の基礎的な変化を理解することを通じて、古典ラテン語が持つ基本的な性格を概観することを目指す。

2FF304 ラテン語初級2

【到達目標】

- ・古典ラテン語の基礎文法のうち、応用的な項目について理解する。
- ・古典ラテン語で書かれた原典を読み解く力の基礎を身につける。

【概要】 この授業では、「ラテン語初級1」に引き続き古典ラテン語の基礎文法の習得を進める。動詞の直説法受動相各時制の人称変化、命令法、不定法、分詞の形などを理解することを通じて、古典ラテン語で書かれた原典を読み解く力の基礎を養う。

2FF305 ギリシア語中級

【到達目標】

- ・古典ギリシア語で書かれた原典を読み解くことができる。
- ・古代ギリシアの思想・文化への理解を深める。

【概要】 この授業では、文法事項を確認したうえで、古典ギリシア語で書かれた原典を受講者とともに読み進めていくことにより、古典ギリシア語の時代的・文化的背景への理解を深めていく。

2FF306 ラテン語中級

【到達目標】

- ・古典ラテン語で書かれた原典を読み解くことができる。
- ・古代ローマの思想・文化への理解を深める。

【概要】 この授業では、文法事項を確認したうえで、古典ラテン語で書かれた原典を受講者とともに読み進めていくことにより、古典ラテン語の時代的・文化的背景への理解を深めていく。

(5) 日本語科目

《教育目標》

- ・自己の考えを論理的に構築し、日本語で明確に表現できる力を身につける。
- ・日本語で表現された情報を吟味し、ポイントを的確に把握する力を養う。

2NN101 日本語表現法

【到達目標】

- ・2000字前後の論述文が作成できる。
- ・文章を読んでポイントをつかみ要約できる。
- ・主張の論理性・妥当性を吟味することができる。
- ・書きことばと話しことばの違いを踏まえて適切な表現ができる。
- ・論理的な文章表現・口頭表現ができる。

【概要】 「日本語表現法」は、大学で学ぶ上で必要な日本語表現力として、論理的な文章表現・口頭表現の力を養うことを目的とする。その土台として、論理的文章を読み解き、ポイントを把握し的確に要約する力を身につける。その上で、自己の考えを論理的に構築する技法を習得する。これに加えて、書きことばと話しことばの違いを踏まえた適切な表現の仕方を学び、最終的に2000字前後の論述文を作成することを課して成果とする。グループワークを適宜取り入れながら、論理的表現力のみならず、批判的思考力も強化していく。

(6) 情報処理科目

《教育目標》

- ・情報通信化社会に必要な、コンピュータやネットワークの基礎的なスキルや知識を習得する。
- ・アカデミックライティングやアカデミックなプレゼンテーションのためのコンピュータ活用スキルを身につける。
- ・情報収集や問題分析、解決、発信をするために、コンピュータやネットワークを効果的に利用する能力を養う。
- ・安全にコンピュータやネットワークを利用していくために、セキュリティやルールおよびマナーについて学ぶ。

■ 必修科目

2JJ101 情報処理技法（リテラシ）Ⅰ

【到達目標】

- ・情報分野の基本的なスキルであるコンピュータの操作、電子メール、Web による情報検索や文献検索ができる。
- ・情報倫理、著作権と正しい引用の知識が身についている。
- ・セキュリティ、ファイルシステムの知識が身についている。
- ・Office ソフトの基礎、またそれらを安全に利用していくための知識が身についている。

【概要】 インターネットをはじめとした今日の情報通信化社会で必要とされる基礎的な技能と概念を習得し、問題分析能力や問題解決能力を養うことを目的とする。コンピュータの基本操作、インターネット・WWW・電子メールの概念や仕組み、情報の検索と利用、著作権と引用、ファイルシステム、情報倫理、安全対策、ワープロ・表計算・プレゼンテーションの利用、などを学ぶ。

2JJ102 情報処理技法（リテラシ）Ⅱ

【到達目標】

- ・インターネットを利用して学術的な情報検索や文献検索ができる。
- ・Word を利用してレポートや論文の内容を論理的に組み立て、文章化できる。
- ・得られたデータを Excel を利用して集計し、的確に表やグラフで表現できる。
- ・文章化した内容を、PowerPoint を利用してアカデミックなプレゼンテーション資料として構成し、実際に発表を行うための技法が身についている。

【概要】 情報処理技法（リテラシ）Ⅰをもう 1 段階強化して実践的にアカデミックライテ

ィング技術とアカデミックなプレゼンテーション技術を習得する。そのために、Office ソフトを効果的に利用するためのスキルを身につける。また、アカデミックライティングやアカデミックなプレゼンテーション資料の作成を通して、論理的思考力を養う。すなわち文献検索の方法やインターネットの利用方法を学び、情報を効率良く検索し批判的に取捨選択し、それらを用いて生産的に自らのレポートや論文、発表資料として構成しなおす作業を、情報技術を用いて効率良く行える力を身に付ける。

■ 選択科目

2JJ201 情報処理技法 (C プログラミング) I

【到達目標】

- ・ C 言語を通じて、プログラミングの基本的な概念を身に付ける。
- ・ データ型、制御構造などのプログラミングの基本を理解する。
- ・ C 言語の簡単なプログラムの作成ができるようになる。

【概要】 コンピュータに対する命令を順に書いたものがプログラムである。プログラムは、オペレーティングシステムやアプリケーションプログラムなど既存のもの以外に、利用者が作成(プログラミング)することもできる。プログラムの仕組みを学んだ後、C 言語を用いてプログラミングの基本を学ぶ。基本データ型(整数型、浮動小数点型)、式と演算子、プログラムの制御構造(順次・選択・反復)、関数を理解し、これらを用いたプログラムの作成を行う。

2JJ202 情報処理技法 (C プログラミング) II

【到達目標】

- ・ C 言語を通じて、プログラミングの応用的な概念を身に付ける。
- ・ C 言語の配列やポインタ、文字列、構造体、ファイルの入出力を理解する。
- ・ C 言語を用いて実践的なプログラムを作成できるようになる。

【概要】 「情報処理技法(Cプログラミング) I」に引き続き、C 言語を用いてプログラミングの基本を学ぶ。配列、文字列、ポインタ、構造体、ファイル入出力などを理解する。配列は複数の同じ型のデータを扱うもので、プログラミングにおける重要なデータ構造の一つである。配列の利用例として整列を取り上げる。文字列にも配列が使われる。構造体は複数の異なるデータを扱うもので、応用上重要である。ポインタは C 言語に特徴的な機能で、高度なプログラミングには必須である。ポインタは配列とも密接な関係にあり、ファイル入出力もポインタを利用する。

2JJ203 情報処理技法（Java プログラミング） I

【到達目標】

- ・データ型と変数の扱い方を習得する
- ・入出力の基本や制御構造を理解し、適切に利用することができる
- ・簡単なプログラムの作成ができる

【概要】 プログラムを記述することで人がコンピュータに命令をし、コンピュータが動作する際の基礎原理を、プログラミング言語 Java を用いて学習する。その後、変数やデータ型、標準入出力、条件分岐、配列、繰り返しなどのプログラミングの基本概念を理解する。これらの制御構造に関しては、各回において演習問題を用いて実習を行うことにより、より深い理解をし、学習したことを組み合わせて簡単なプログラムを作成することができる技術を身につける。

2JJ204 情報処理技法（Java プログラミング） II

【到達目標】

- ・普段使っているソフトウェア仕組みを理解する
- ・オブジェクト指向やアルゴリズムの基本を理解する
- ・小規模で実用的なソフトウェアの作成ができる

【概要】 「情報処理技法 (Java プログラミング) I」の発展として、Java の特徴の 1 つである「オブジェクト指向」について、クラス概念や継承、集約等のオブジェクト指向技術の概要を理解し、その基礎的なプログラミング方法を学ぶ。あわせて、アルゴリズムにも触れる。これにより、ソフトウェアの内部構造にも触れ、ソフトウェアの動作の仕組みを学ぶ。また、これらの学習はプログラミングの実習を通して行う。ごく小規模なソフトウェアを作成する技術を習得する。

2JJ205 情報処理技法（マルチメディアと表現） I

【到達目標】

- ・コンピュータで取り扱う静止画を題材に作成や加工を行う過程を通して、デジタル形式の画像に関する知識を習得する。
- ・画像を Web コンテンツとして公開する技術を身につける
- ・公開に関して注意すべき点を理解する。

【概要】 情報を表現するための手段として静止画を取り上げ、静止画像のフォーマットやコンピュータでの色の表現の概念、スキャナ・デジタルスチルカメラの利用方法、写真のデジタル編集 (Photo Retouch)、描画ソフトを利用した画像の作成と加工、GIF アニメーションなど、静止画表現に必要な知識や技術を実習を通して学ぶ。静止画作品を発表する媒体としては Web を利用するため、HTML や Web 公開の基礎から、ユニバーサルな Web デザイン、Web コンテンツ公開時の著作権や肖像権についても触れる。

2JJ206 情報処理技法（マルチメディアと表現）Ⅱ

【到達目標】

- ・動画編集のための計画策定を行う力を養う
- ・デジタル動画編集の基礎的な知識を理解し、技術を習得する。
- ・多様なメディアでの動画の表現について理解する

【概要】 情報を表現するための手段として動画を取り上げ、時間とともに変化するビデオ・コンテンツの表現手法について、着想・絵コンテの作成、撮影時のノウハウ、ノンリニア編集、圧縮・保存・公開する一連の DTV の過程を学ぶ。これらの過程は、デジタルビデオカメラを利用してビデオ素材を撮影し、作品を作成するという実習を通して実践的に学んでいく。作品は、YouTube など Web による公開の他に CD や DVD、DV テープなどの多様なメディアでの表現についても学び、ビデオ・コンテンツ作成に関する知識と技術を習得する。

2JJ207 情報処理技法（UNIX リテラシ）

【到達目標】

- ・UNIX の仕組みと特性を理解する。
- ・目的に応じて UNIX のコマンドを使いこなすことができる。
- ・簡単な操作を実行するためにシェルスクリプトを作成できる。

【概要】 Mac OS X や Linux 等、UNIX (Unix 系オペレーティングシステム) を端末 (ターミナルソフト) から使いこなす技術を身に付ける。コンピュータは、入力された情報を目的に応じて処理し、その結果を出力する装置である。UNIX の仕組みと特性を学ぶことにより、コンピュータのこのような仕組みを深く理解することができるようになる。この講義では、端末において様々なコマンドを組み合わせることで処理を行う実習を通して、コンピュータを自由に活用できる力を身につける。

2JJ208 情報処理技法（統計解析）

【到達目標】

- ・確率の概念や統計的推定など、統計解析の基本を理解する。
- ・表計算ソフトを用いた、基本的な統計解析ができる。

【概要】 取得した情報の分析のために、統計的データ解析の入門から応用までの講義を行う。観測データからどのようなことが推論付けられるか、また如何にして真に有効な、あるいは有益な情報を抽出することができるかを中心に解説する。統計解析ソフトとしては、普及率の高い Excel を用いる予定である。Excel を用いて、データ解析の方法 (データの集計、グラフ化、統計的方法による分析) について実習を行う。

2JJ209 情報処理技法（ネットワークとセキュリティ）

【到達目標】

- ・ネットワークやセキュリティの基礎知識を習得する。
- ・ネットワークを構築するために必要となる、各種機器の特徴や用途を理解する。
- ・自宅で小規模なネットワークを構築するために必要な、機器の設定技術や簡単なトラブルシューティングの手法を習得する。

【概要】 インターネットをはじめとするコンピュータネットワークについて、基本的な仕組みを理解し、実習を通じてネットワークの基本的な設定の技術を身につける。ネットワーク利用時のセキュリティについてもあわせて学習する。これらの学習は、ネットワークケーブルの作成や PC へのネットワークの設定等の実習を行うことで、より理解が深まる。自宅等でのごく小規模なネットワークの構築をできるような技術を身につける。

2JJ210 情報処理技法（Web での情報表現）

【到達目標】

- ・誰もが使いやすく楽しい、Web 標準に準拠したサイトを制作することができる。
- ・サイトの設計・制作・評価の基本を理解する。
- ・変化の激しい ICT 社会に対応した Web での情報表現を考えることができる。

【概要】 受講者に前提知識を必要とせず、誰もが使いやすい Web サイトを実際に製作して発表する科目である。変化の激しい ICT 社会の中心となっている Web の重要性を理解し、高齢者や初心者や障害者などの誰もが使いやすい Web を、Web 標準に準拠して制作するスキルを、設計・制作・評価のプロセスに分けて、実例やサイト制作実習で学ぶ。数ページで構成されるサイトの制作を最終課題とする。モバイル社会の対応も紹介する。

2JJ301 コンピュータ・サイエンス I

【到達目標】

- ・ハードウェアに関する基本的な仕組みを理解する
- ・コンピュータで扱う情報の数値変換を習得する
- ・文字の符号化と、画像や音声のデジタル化と圧縮の仕組みを理解する

【概要】 「コンピュータ・サイエンス II」と併せて受講することにより、コンピュータの基本的な仕組みを理解し、自在に使いこなすための基礎的な素養を身につける。情報処理技術の知識面の基礎を重点的に扱う。この授業では、主に、ハードウェア構成や、コンピュータ上での情報の表現方法に関する知識を学ぶ。これらの内容を、適宜実習を交えることで理解を深める。情報処理技術者試験などの情報処理関連の資格試験の基盤となる内容を広く含む。

2JJ302 コンピュータ・サイエンスⅡ

【到達目標】

- ・OSの基本的な仕組みを理解する
- ・ネットワークの仕組みとセキュリティの基礎について理解する
- ・ソフトウェアの基本的な動作の仕組みについて理解する

【概要】 「コンピュータ・サイエンスⅠ」と併せて受講することにより、コンピュータの基本的な仕組みを理解し、自在に使いこなすための基礎的な素養を身につける。情報処理技術の知識面の基礎を重点的に扱う。この授業では、主にソフトウェアに着目し、OSの仕組みや役割、プログラムの言語処理方式、アルゴリズムやネットワーク等について学ぶ。適宜実習を通して、これらの内容の理解を深める。情報処理技術者試験などの情報処理関連の資格試験の基盤となる内容を広く含む。